

産総研日高川和佐観測点の地質概要とコア資料

Geological overview and core data from three drilling holes
at AIST integrated groundwater observation station in
Hidakagawa Town, Wakayama Prefecture, southwestern Japan

北川有一^{*1}・木口 努^{*1}・松本則夫^{*1}・千葉昭彦^{*2}・長谷和則^{*2}・小野雅弘^{*2}

KITAGAWA Yuichi^{*1}, KIGUCHI Tsutomu^{*1}, MATSUMOTO Norio^{*1},
CHIBA Akihiko^{*2}, HASE Kazunori^{*2} and ONO Masahiro^{*2}

*1 産業技術総合研究所地質調査総合センター 活断層・火山研究部門

*2 住鉱資源開発株式会社

*1 Research Institute of Earthquake and Volcano Geology, GSJ, AIST

*2 Sumiko Resources Exploration & Development Co., Ltd.

キーワード : 日高川和佐観測点、コア、地下水等総合観測点、日高川町、南海トラフ

Keyword : Hidakagawa-Wasa station, boring core, AIST integrated groundwater observation station, Hidakagawa Town, Nankai Trough

内容紹介:

産総研では、南海トラフ沿いで発生する地震の予測精度向上を目的として、20 観測点で構成される南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測ネットワークの構築を計画し、2021 年度には 17 カ所目として、日高川和佐観測点（和歌山県日高郡日高川町）を整備した。日高川和佐観測点では、これまでの観測点と同様に、3 つの鉛直孔井を掘削し、孔 1、孔 2、孔 3 の掘削深度は、それぞれ、600 m、201 m、33 m である。孔 1 の深度 571~600 m 区間ではコアを採取し、孔 1 の 571 m 以浅と孔 2、孔 3 ではカッティングスを回収した。本原稿は、日高川和佐観測点の地質概要、コア写真、地質柱状図などについて取りまとめた。

引用例:

北川有一・木口 努・松本則夫・千葉昭彦・長谷和則・小野雅弘（2023）産総研日高川和佐観測点の地質概要とコア資料. 地質調査総合センター研究資料集, no. 743, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.

Contents:

We summarized the geological overview, core photographs, and geological columnar sections of the boreholes drilled at AIST integrated groundwater observation station in Hidakagawa Town, Wakayama Prefecture, southwestern Japan. At this station, as with the previously constructed observation ones, three vertical boreholes were drilled, and the drilling depths of holes 1, 2, and 3 were 600 m, 201 m, and 33 m, respectively. Core samples were collected from the depth interval of 571–600 m in hole 1, while cuttings were recovered from the shallower sections of hole 1 (up to 571 m), hole 2 and 3.

Citation :

KITAGAWA Yuichi, KIGUCHI Tsutomu, MATSUMOTO Norio, CHIBA Akihiko, HASE Kazunori and ONO Masahiro (2023) Geological overview and core data from three drilling holes at AIST integrated groundwater observation station in Hidakagawa Town, Wakayama Prefecture, southwestern Japan. Open-File Report of the Geological Survey of Japan, AIST, no.743, 58p.

産総研日高川和佐観測点の地質概要とコア資料

北川有一^{*1}・木口 努^{*1}・松本則夫^{*1}・千葉昭彦^{*2}・長谷和則^{*2}・小野雅弘^{*2}

*1 産業技術総合研究所地質調査総合センター 活断層・火山研究部門

*2 住鉱資源開発株式会社

日高川和佐観測点の所在地

和歌山県日高郡日高川町大字和佐字南山 1030 番 175

日高川和佐観測点の孔井の座標（世界測地系）と標高

	緯度 上段：度分秒 下段：10進法	経度 上段：度分秒 下段：10進法	標高 (m)
孔 1 (600m)	33° 53′ 10.29 33.886192	135° 11′ 55.54 135.198761	54.36
孔 2 (201m)	33° 53′ 10.17 33.886158	135° 11′ 56.05 135.198903	53.94
孔 3 (33m)	33° 53′ 10.13 33.886147	135° 11′ 56.19 135.198942	53.88

謝辞

日高川和佐観測点の設整備工事においては、和歌山県日高郡日高川町のご理解とご協力を得て、無事に観測施設を設置することができました。現地作業におきましては、地元自治会・近隣住民・施設のご理解を得て竣工いたしました。ここに、関係各位にお礼申し上げます。

1. 地質・地形概要

日高川和佐観測点の整備工事を実施した掘削地点（図1）は日高川町西部の御坊市との境界付近に位置し、標高 50~100 m の丘陵地で、一次谷は南北方向のものが多く、高次の谷になるほど東西方向の傾向が強くなる（図2）。これは、この付近の大局的な地質構造の走向が主として東西であることを反映していると考えられる。掘削地点は北側の千疋山と南側の講山に挟まれた相対的な低地で、造成前の地形図を見ると標高 50 m 弱の谷を埋め立て、標高 60 m 弱になっている。埋め立てた谷の中央部で層厚 10~15 m の岩層が想定されるが、孔口は北側の地山に近い部分にあたることもあり、岩層は孔1で 3.80 m、孔2で 2.90 m、孔3で 1.80 m であった。

掘削地点には四万十帯に分布する後期白亜紀末の付加体である竜神層（竜神付加コンプレックスと呼ぶ例もある）が分布する。これまでこの地域は、徳岡・吉野（1978）の表層地質図や、Yanai（1984）、木村ほか（1996）、紀州四万十帯団体研究グループ（2006）（図3）によって地質の研究がされてきた。このうち掘削地点の岩相が示されているのは、徳岡・吉野（1978）、Yanai（1984）、紀州四万十帯団体研究グループ（2006）である。紀州四万十帯団体研究グループ（2012）は広域的な取りまとめを行い、本地域の北部の千疋山周辺を寒川ユニット（Ry1）、中南部を湯ノ原ユニット（Ry3）に区分した。竜神層の泥質岩からは後期カンパニアン期~中期マーストリヒチアン期の放散虫化石が産出することから、付加年代は白亜紀末と考えられている（常磐ほか，2007；山本・鈴木，2012）。

なお、本観測点の3つの孔井では孔井掘削後に物理検層を実施しており、木口ほか（2023）が各種の物理検層の概要と解析結果について取りまとめている。



図 1 工事場所（掘削地点）（地理院地図、電子国土 Web に加筆）

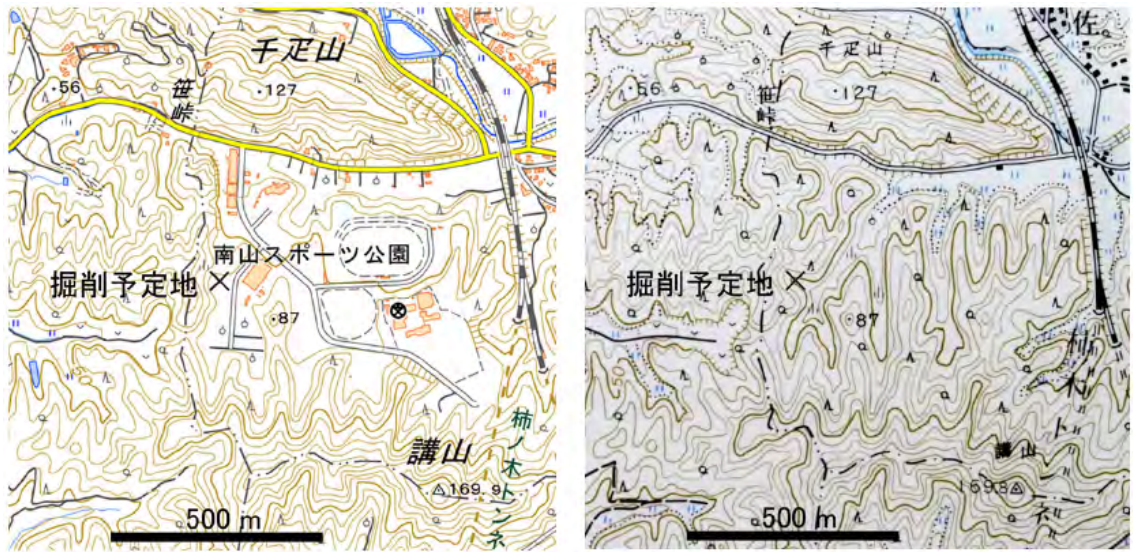


図 2 左：観測点周辺の現在の地形図（地理院地図、電子国土 Web に加筆）
右：スポーツ公園造成前の地形図（国土地理院、1：25,000 地形図「御坊」に加筆）

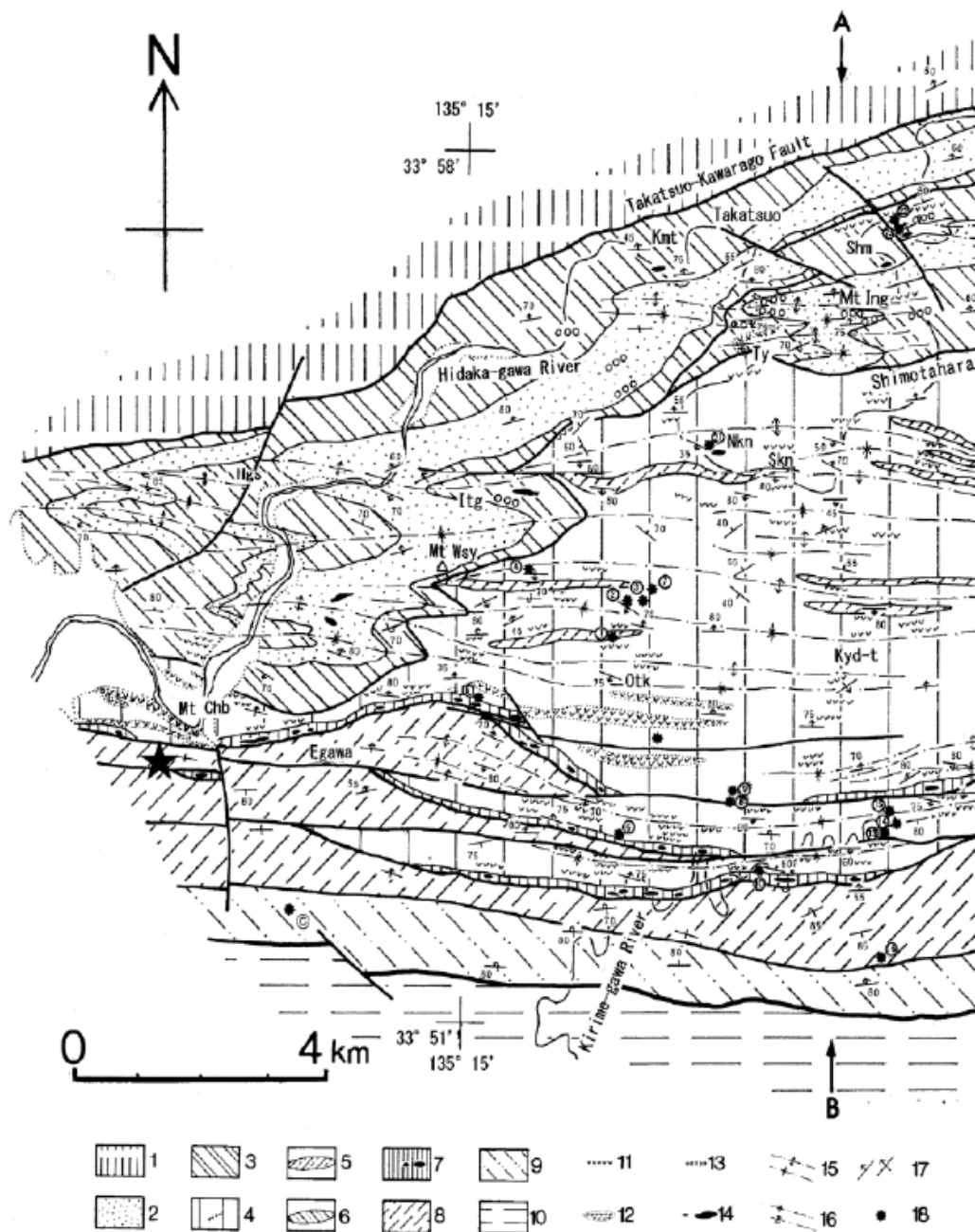


図 3 掘削地点周辺の地質（紀州四万十帯団体研究グループ，2006，Fig. 2 に掘削地点を加筆）
掘削地点（★）は乱された砂岩と泥岩からなるユニットと考えられる。

参考文献

- 木口努・北川有一・松本則夫（2023）産総研日高川和佐観測点における物理検層の概要と解析結果．地質調査総合センター研究資料集，742，産業技術総合研究所地質調査総合センター．
- 木村克己・別所孝範・坂本隆彦・公文富士夫・鈴木博之（1996）紀伊半島四万十累層群の上部白亜系竜神累層に挟まれる酸性凝灰岩のフィッション・トラック年代とその意義．

地質雑誌, 102, 116-124.

紀州四万十帯団体研究グループ(2006) 和歌山県中西部の日高川帯の地質—紀伊半島四万十帯の研究(その13)—. 地球科学, 60, 355-374.

紀州四万十帯団体研究グループ(2012) 竜神付加コンプレックスのユニット区分—上部カンパニアン—中部マーストリヒチアンの付加体—. 地団研専報, 59, 43-50.

常盤哲也・森慈徳・鈴木博之・丹羽耕輔(2007) 紀伊半島の四万十帯北帯日高川層群竜神層から産出したカンパニアン後期放散虫化石. 地質雑誌, 113, 270-273.

徳岡隆夫・吉野実(1978) 表層地質図「御坊」. 土地分類基本調査「御坊」, 和歌山県.

山本俊哉・鈴木博之(2012) 紀伊半島四万十付加体海溝堆積物の白亜紀放散虫化石. 地団研専報 59, 229-235.

Yanai, S. (1984) Tectonic development of the Shimanto geosyncline in the western Kii Peninsula, Southwest Japan. Jour. Geol. Soc. Japan, 90, 223-243.

2. コア・カッティングスの観察と記録

本観測点では孔1の571~600 mについてコアボーリング、孔1の571 m以浅と、孔2、孔3についてはノンコアボーリングによる掘削が行われた。コアボーリング中は定方位測定を2箇所を実施し、2回目実施箇所以降はコアの連続性を確認しながら定方位測定のマーキングを実施した。定方位コア測定の実施記録を表1に示す。ノンコアボーリングにおいては、10 mごとにカッティングスを採取しその観察を行った。

表1 571~600 m区間の定方位コア測定の実施記録

定方位測定	コア端面合わせ	基線色	基線方位(磁北)	対象コア区間(GL-)		
573.78m		赤	S43° E (137°)	571.00m	~	580.00m
585.28m		白	S48° W (228°)	580.00m	~	600.00m

採取コアは表面を洗浄したあと1 m単位に整形し、2 mごとにコア箱へ納めてコア写真(第4章)を撮影した。歪計・地震計埋設と地下水位観測を目的とする本工事では、コア観

察による岩盤状況および水みちの把握が最重要である。これを踏まえて、コア観察では地質、砂岩頁岩量比、硬さ、割れ目の特徴・方位・傾斜、破碎帯、鉱物脈の有無などに着目し、記載結果を柱状図として取りまとめた。

図4～6に各孔の500分の1柱状図を示す。また、100分の1柱状図を第5～7章に示す。

2.1 孔1の地質状況

孔1の地質区分は以下の通りである。

0.0 m～3.8 m 主に碎石からなる表土および盛土

3.8 m～600.0 m 日高川層群の砂岩頁岩互層

砂岩頁岩互層は全体を通じて硬質、淘汰良好な（細粒）砂岩優勢の互層である。

10 mまでは砂岩優勢互層である。試料表面に主に酸化鉄と考えられる沈殿物が付着しており、やや表面が赤みを帯びている。淡灰色の凝灰岩も認められる。

200 mまで黒色～暗灰色の等量互層であり、優白色～黄白色の方解石の沈殿物が多く認められる。

360 mまでは黒色～暗灰色の等量互層または頁岩優勢互層であり、淡灰色～淡緑色の凝灰岩や緑色粘土が認められる。また、優白色の方解石の沈殿物が多く認められる。

400 mまでは暗灰色の砂岩優勢互層であり、優白色の方解石の沈殿物が認められる。

450 mまでは黒色の等量互層または頁岩優勢互層であり、優白色～黄白色の方解石の沈殿物が多く認められる。

500 mまでは暗灰色の砂岩優勢互層であり、沈殿物等は少なくなる。

600 mまでは暗灰色の砂岩優勢互層であり、砂岩の一部は珪化している。優白色～黄白色の方解石の沈殿物が多く認められるほか少量ではあるが斑点状に黄鉄鉱が認められる。571 m以深のコア観察では幅2～6 cmの粘土化・珪化を被る凝灰岩層を挟むことが確認された。

2.2 孔2の地質状況

孔2の地質区分は以下の通りである。

0.0 m～2.9 m 主に碎石からなる表土および盛土

2.9 m～3.4 m 礫混じり凝灰岩層

3.4 m～200.0 m 日高川層群の砂岩頁岩互層

砂岩頁岩互層は孔1と同様に全体を通じて硬質、淘汰良好な（細粒）砂岩優勢の互層である。

3.4 mまでは礫混じり凝灰岩層である。内部に礫として下位の砂岩頁岩を含む。

80.0 mまでは黒色～暗灰色の砂岩優勢互層であり、灰色の凝灰岩が認められる。10.0 mまで酸化が強く、黄褐色で褐鉄鉱の付着が顕著である。40～70 mはわずかに粘土を含む。

140 mまでは暗灰色の砂岩優勢互層、200 mまでは黒色～暗灰色の頁岩優勢互層であり、優白色～黄白色の方解石の沈殿物が認められる。120 m、150 m、200 m付近の試料には粘土

が認められた。

2.3 孔3の地質状況

孔3の地質区分は以下の通りである。

0.0 m～1.8 m 主に碎石からなる表土および盛土

1.8 m～5.0 m 礫混じり凝灰岩層

5.0 m～30.0 m 日高川層群の砂岩頁岩互層

砂岩頁岩互層は孔1と同様に全体を通じて硬質、淘汰良好な（細粒）砂岩優勢の互層である。

5.0 mまでは礫混じり凝灰岩層であり、下位の砂岩頁岩を含む。

30.0 mまで暗灰色の砂岩優勢互層である。13.0 mまで酸化が強く、赤灰色～黄褐色で褐鉄鉱の付着が顕著である。また、15.0 mまで灰色の凝灰岩が認められる。

南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事

孔口標高 54.36m
総削孔長 600.0m

日高川和佐 孔 1 試錐柱状図 0 ~ 120m (縮尺 500 分の 1)

標尺 GL-m	柱状図	深度	地質 区分	色調	岩級 区分	変質	記事
0		3.80	盛土				主に砕石からなる表土および盛土
10		10.00	砂岩頁岩互層 (砂岩優勢)	灰~暗灰色	C	未変質	褐鉄鉱の沈着認める 淡灰色の凝灰岩が混じる 頁岩 30%
40		40.00	砂岩頁岩互層 (等量)				石英と方解石が認められる (石英はごく少量) 頁岩 50 ~ 60%
60				黒~暗灰色	C ~ B	未変質	
80		80.00	砂岩頁岩互層 (砂岩優勢)				石英と方解石が認められる (石英はごく少量) 頁岩 20 ~ 50%
120			砂岩頁岩互層 (等量~頁岩優勢)				石英と方解石が認められる (石英はごく少量) 頁岩 40 ~ 80%

図4 孔1試錐柱状図 縮尺500分の1 (1/5)

南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事

日高川和佐 孔1 試錐柱状図 120～240m (縮尺 500分の1) 孔口標高 54.36m
総削孔長 600.0m

標尺 GL-m	柱状図	深度	地質 区分	色調	岩級 区分	変質	記事	
120								
130								
140								
150								
160					黒～暗灰色	C～B	未変質	
170								
180								
190								
200			200.00					石英と方解石が認められる (石英はごく少量) 頁岩 40～80%
210			210.00	砂岩頁岩互層 (等量～頁岩優勢)			凝灰岩わずかに 緑色化	石英と方解石が認められる (石英はごく少量) 頁岩 50% 凝灰岩が含まれる
220		220.00	砂岩頁岩互層 (砂岩優勢)				石英と方解石が認められる (石英はごく少量) 頁岩 30%	
230		230.00					石英と方解石が認められる (石英はごく少量) 頁岩 80%	
240			砂岩頁岩互層 (等量～頁岩優勢)				石英と方解石が認められる (石英はごく少量) 頁岩 50% 凝灰岩が含まれる	

図4 孔1試錐柱状図 縮尺500分の1 (2/5)

南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事

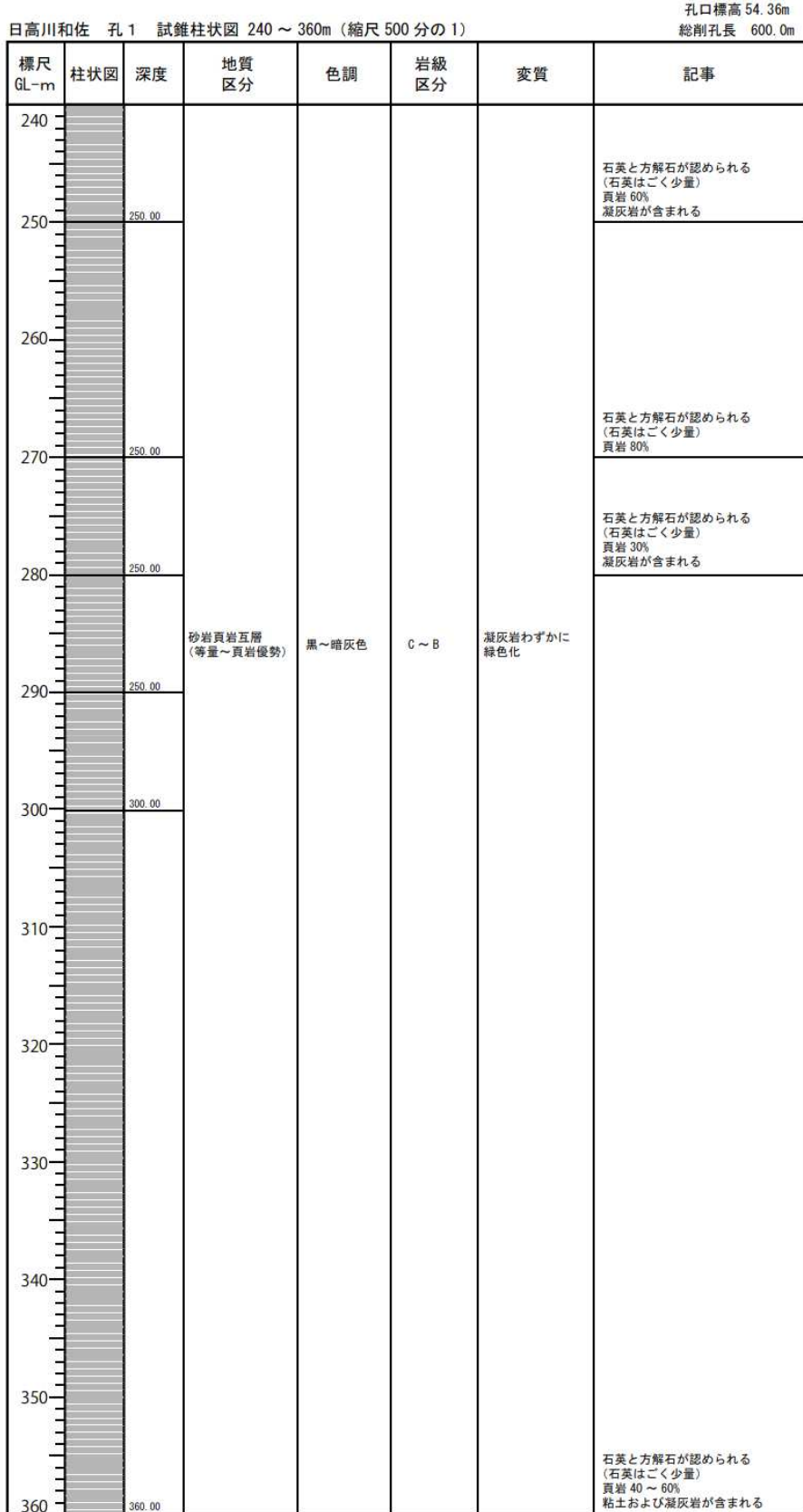


図4 孔1試錐柱状図 縮尺500分の1 (3/5)

南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事

孔口標高 54.36m
総削孔長 600.0m

日高川和佐 孔1 試錐柱状図 360～480m (縮尺 500分の1)

標尺 GL-m	柱状図	深度	地質 区分	色調	岩級 区分	変質	記事
360							
370							
380							
390							
400		400.00	砂岩頁岩互層 (砂岩優勢)	暗灰色	B	未変質	石英と方解石が認められる (石英はごく少量) 頁岩 30～40%
410							
420							
430							
440							
450		450.00	砂岩頁岩互層 (等量～頁岩優勢)	黒～暗灰色	C～B	未変質	石英と方解石が認められる (石英はごく少量) 頁岩 60～80%
460							
470			砂岩頁岩互層 (砂岩優勢)	暗灰色	B	未変質	頁岩 30%
480							

図4 孔1試錐柱状図 縮尺500分の1 (4/5)

南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事

孔口標高 54.36m
総削孔長 600.0m

日高川和佐 孔1 試錐柱状図 480～600m (縮尺 500分の1)

標尺 GL-m	柱状図	深度	地質 区分	色調	岩級 区分	変質	記事					
480		500.00										
490												
500			砂岩頁岩互層 (砂岩優勢)	暗灰色	B	未変質	頁岩 30%					
510												
520												
530												
540												
550												
560												
570								B ~ A	砂岩の一部 珪化	石英と方解石が認められる (石英はごく少量) 頁岩 20 ~ 30%		
580								砂岩頁岩互層 (砂岩優勢)	暗灰色	B ~ A	砂岩の一部 珪化 凝灰岩の粘土化 ・珪化 黄鉄鉱 (斑点状)	571.00m ~ 572.23m 亀裂多く一部礫状コアとなる
590												578.45m ~ .49m 断層破砕帯 578.90m ~ .00m コア破砕著しい 581.30m ~ .55m 凝灰岩の粘土化 584m 付近凝灰岩の粘土化、 黄鉄鉱を伴う
595	589.71m 断層破砕帯 (幅 0.8cm)											
600	594.22m 脈状の弱変質凝灰岩 (幅 3.0cm) 594.61m 脈状の弱変質凝灰岩 (幅 2.0cm) 石英と方解石脈が認められる (石英はごく少量) 頁岩 20 ~ 40%											

孔底

図4 孔1試錐柱状図 縮尺500分の1 (5/5)

南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事

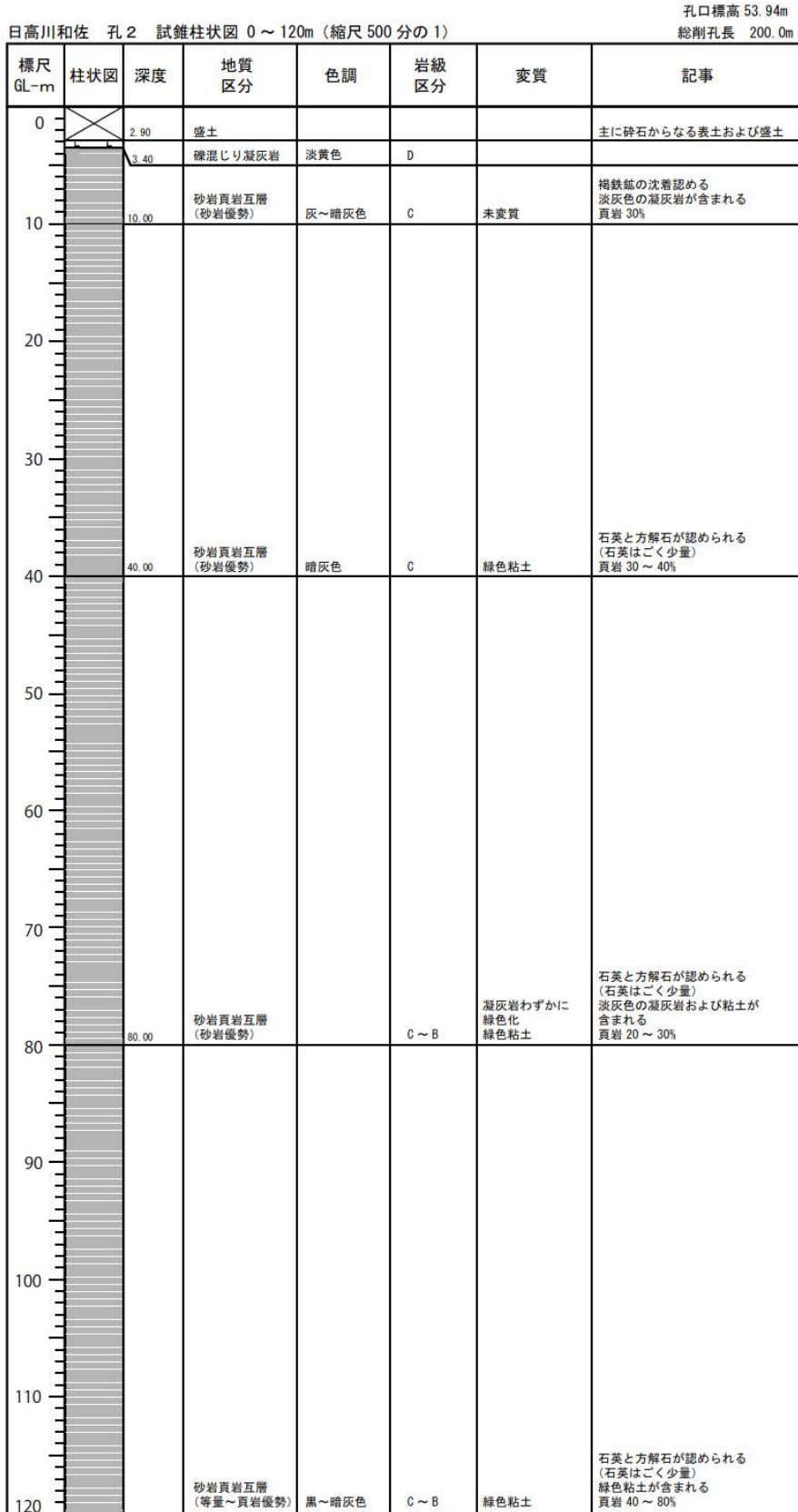


図5 孔2試錐柱状図 縮尺500分の1 (1/2)

南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事

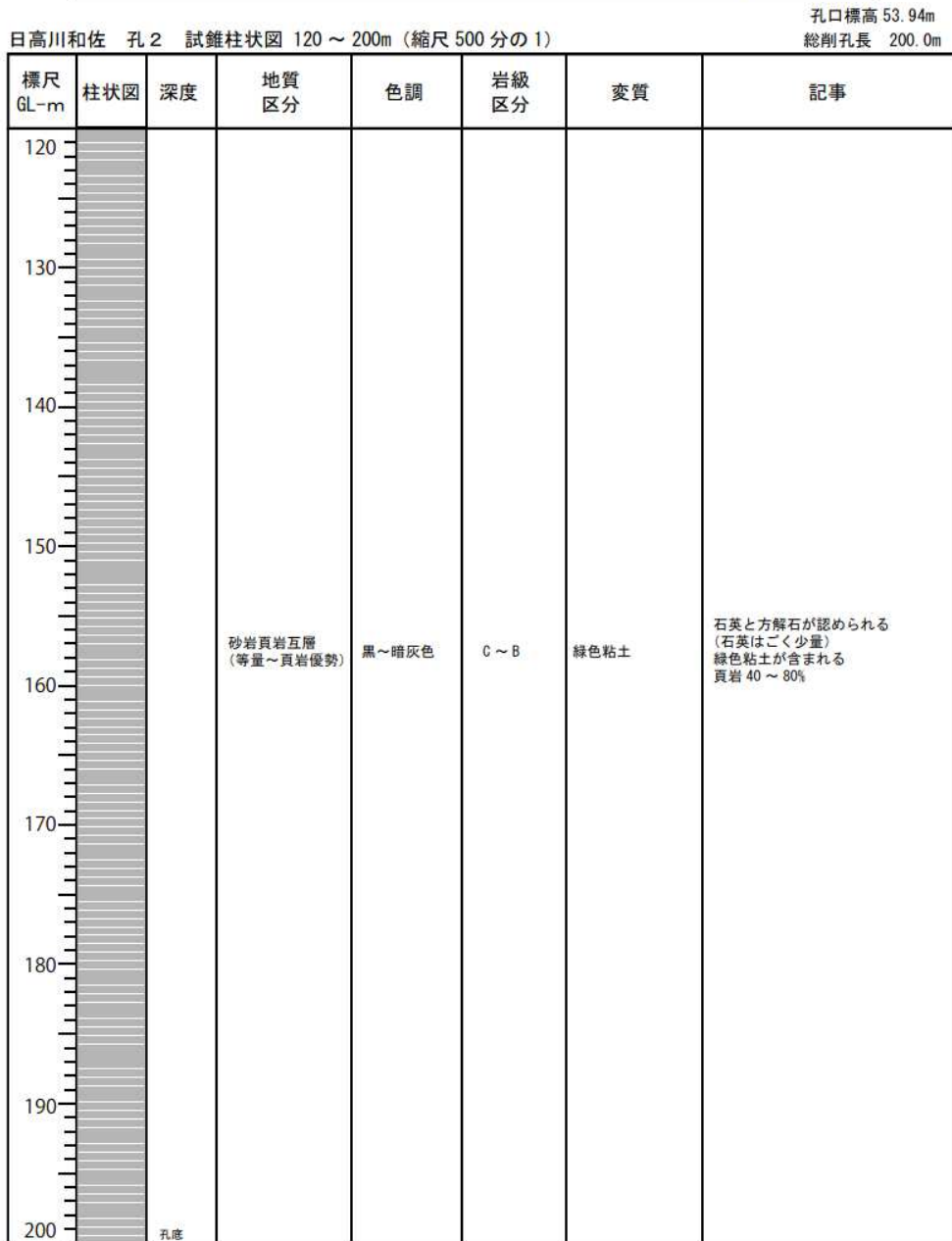


図5 孔2試錐柱状図 縮尺500分の1 (2/2)

南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事

孔口標高 53.88m

総削孔長 30.0m

日高川和佐 孔3 試錐柱状図 0～30m (縮尺 500分の1)

標尺 GL-m	柱状図	深度	地質 区分	色調	岩級 区分	変質	記事
0		1.80	盛土				主に砕石からなる表土および盛土
		5.00	礫混じり凝灰岩	淡黄色	D		褐鉄鉱の沈着認める 下位の砂岩頁岩を礫として含む
10		13.00	砂岩頁岩互層 (砂岩優勢)	灰～暗灰色	D～C	未変質	褐鉄鉱の沈着認める 淡灰色の凝灰岩が含まれる
20		30.00	砂岩頁岩互層 (砂岩優勢)	暗灰色	C	未変質	石英と方解石が認められる (石英はごく少量) 頁岩 30～40%

図6 孔3試錐柱状図 縮尺500分の1

3. 孔内の地質と検層結果の比較

カッティングスおよびコア記載結果より作成した地質柱状図と検層結果をまとめた総合柱状図を図7～図9に示す。孔1、2について検層結果と地質・岩相状況の関係について整理した結果を表2に示す。

表2 検層結果と地質・岩相状況関係

	孔1	孔2
自然ガンマ線	<ul style="list-style-type: none"> ・30mまでは風化の影響を示していると考えられる。 ・頁岩優勢層で相対的に高い値を示し、450m以深など砂岩優勢層で低い値を示す傾向が認められる。 ・581～584mの粘土化した凝灰岩層付近で140程度の高い値を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カッティングスに粘土の含まれる区間（60m、70m）で相対的に高い傾向が認められる。 ・砂岩・頁岩の量比によっても変化するように見えるが明瞭な変化は認められない。
自然電位	<ul style="list-style-type: none"> ・砂岩優勢層で相対的に低く、頁岩優勢層で高い値を示す傾向がある。 ・頁岩優勢層中においても、凝灰岩や粘土化の分布する区間で低い値を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・砂岩優勢層と頁岩優勢層に明瞭な違いは認められない。 ・深度120m付近など砂岩と頁岩の境界付近で低い値を示す。
比抵抗	<ul style="list-style-type: none"> ・深度200m～470mの高比抵抗区間と470m～560mの低比抵抗区間に大別される。前者は主に頁岩優勢層が、後者は砂岩優勢層に相当する。 ・凝灰岩や粘土の認められる区間では$10\Omega \cdot m$（LN）程度まで低下する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・深度30m～150mの高比抵抗区間と150m以深の低比抵抗区間に大別される。 ・孔1と異なり比抵抗は砂岩優勢層で高く、頁岩優勢層で低下する。
密度検層	<ul style="list-style-type: none"> ・頁岩優勢互層で相対的に高く、砂岩優勢互層で低い値を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・P波速度S波速度はともに砂岩優勢互層で高く、頁岩優勢層で低い値を示す（孔1と逆の傾向）。
透水係数	<ul style="list-style-type: none"> ・頁岩優勢層で$E-11m/sec$、砂岩優勢層で$E-10m/sec$の値を示す。 ・コア透水試験結果では$2.24E-12 m/sec$の値が得られ、概ね整合的な結果である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孔1と同様に$E-10\sim E-11m/sec$の値が得られ、コア透水試験結果と概ね整合的な結果である。
温度検層	<ul style="list-style-type: none"> ・孔口から孔底まで地温勾配約$0.03^{\circ}C/m$で徐々に温度が上昇する伝導型の温度構造を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孔口から孔底まで地温勾配約$0.02^{\circ}C/m$で徐々に温度が上昇する伝導型の温度構造を示す。

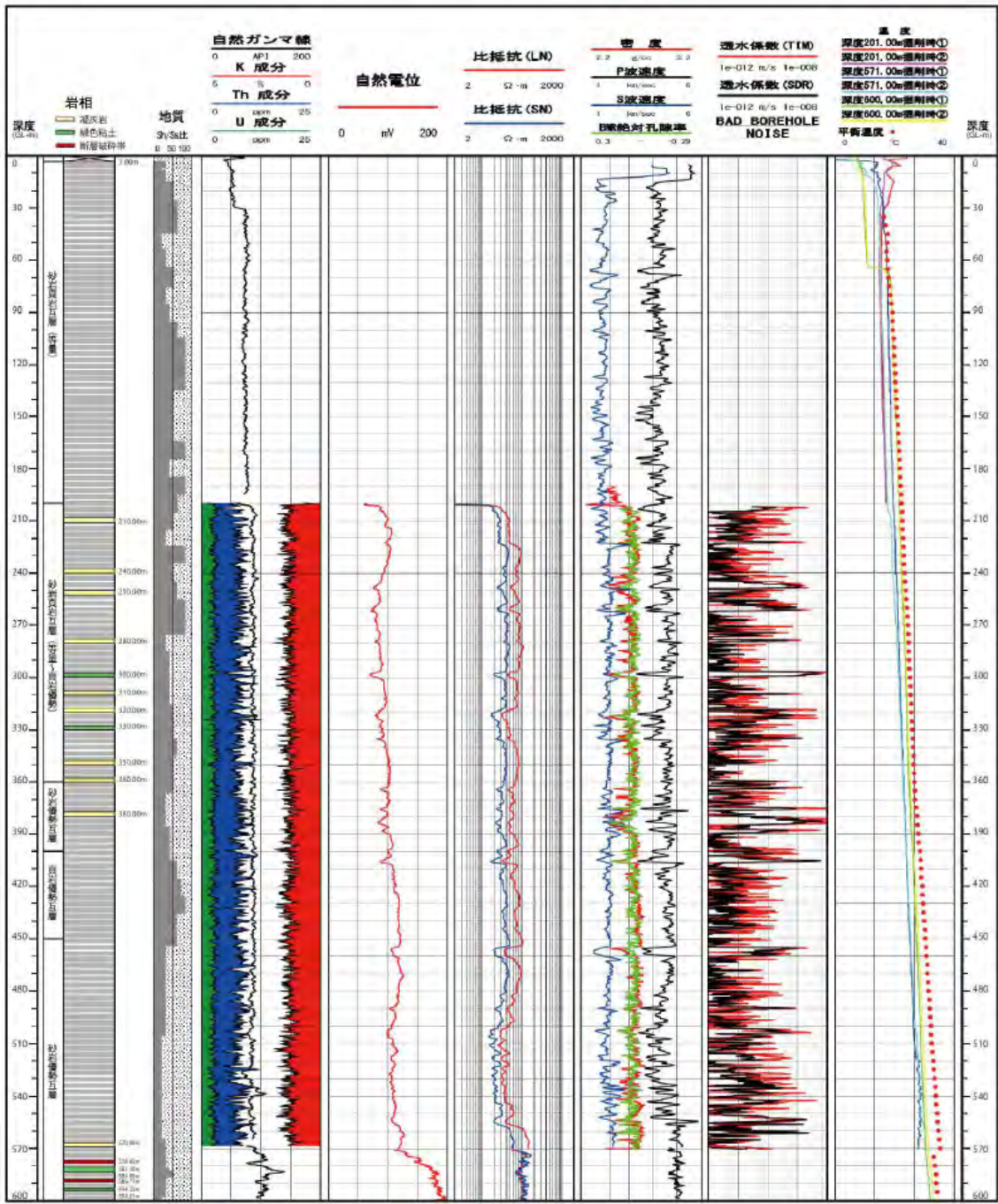


図 7 孔 1 総合柱状図 縮尺 3000 分の 1

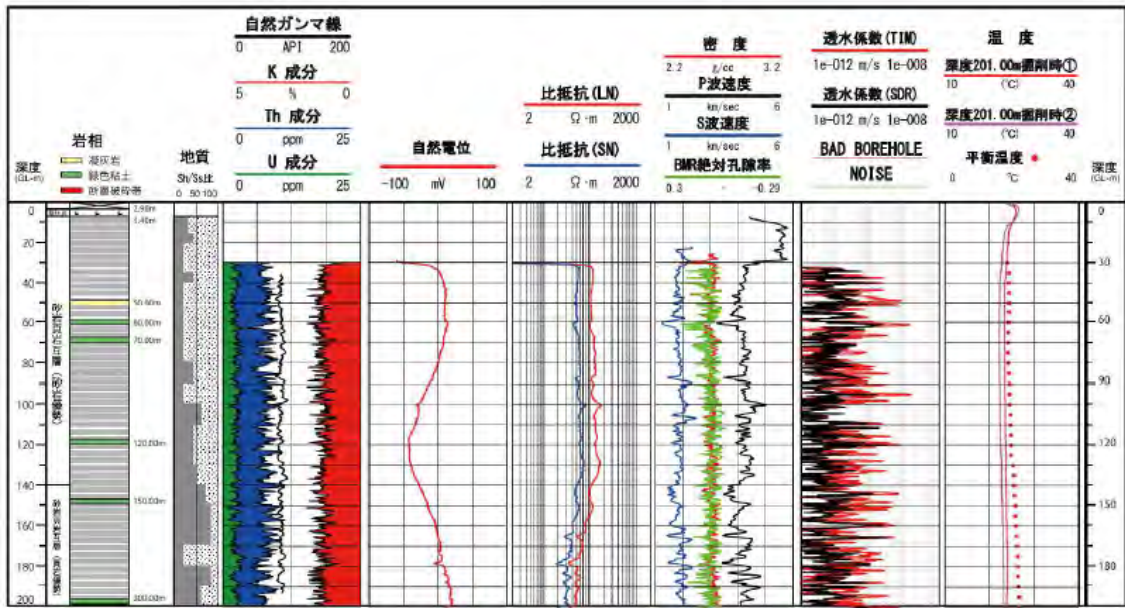


図 8 孔 2 総合柱状図 縮尺 3000 分の 1

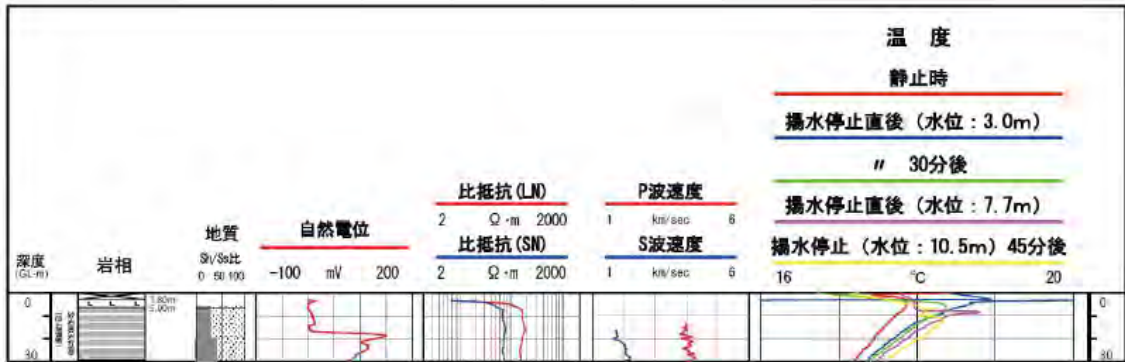


図 9 孔 3 総合柱状図 縮尺 3000 分の 1

4. 孔1のコア写真(571~600 m)





585m

586m

587m

588m

589m

590m

591m

592m

593m

594m

595m

596m

597m

598m

599m

585

586

587

588

589

590

591

592

593

594

595

596

597

598

599

600

5. 孔1の試錐地質柱状図(1/100)

試錐地質柱状図 (1/100)

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事（和歌山県日高町地区）

事業名または工事名 観測施設整備工事

調査目的及び調査対象 その他 地震・耐震

ボーリング名	孔1		調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.29"					
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所				調査期間	令和3年7月30日～令和4年2月7日		東経	135° 11' 55.54"				
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則		コア鑑定者	小野 雅弘			
孔口標高	54.36 m	角	180° 上 下 0°		方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°		地盤勾配	鉛直 90°	水平 0°	使用機種	試錐機 利根製Resort-21	
総削孔長	600.00 m	度			位置			エンジン	45kW		ポンプ	利根製NP1400	

標尺 m	深 度 m	工学的 地質区 分名 (模様)	工学的 地質区 分名	色 調	風 化 の 程 度	変 質 の 程 度	岩 級 区 分	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	R Q D %	記 事	孔内 水位 m 測定 月日	削孔状況						試料採取	
													削 孔 月 日	削 孔 速 度 cm/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa	排 水 量 L/min	深 度 m
1											主に碎石からなる表土および盛土									
2																				
3																				
4	3.80		盛土	灰色	-	-	-	-	-				7/30	112.5	0.8	80	700	4	700	
5											褐鉄鉱の沈着認める 淡灰色の凝灰岩が混じる SS:SH=7:3			112.5	0.8	40	0	4	700	
6													7/31	108	1	40	600	3	600	
7																				
8													8/1	93.3	1.5	40	600	3	600	
9																				
10	10.00		砂岩等の互層	暗灰	w3	-	C	-	-		SS:SH=5:5			92.7	2	40	600	4	600	
11																				
12														120	2	40	300	3	600	
13													8/2	42.9	1.5	40	595	3	600	
14														49.7	2	40	595	3	600	
15													8/3	75	1.8	40	600	3	600	
16																				
17														50.8	2	40	600	3	600	
18														55.4	2.5	40	600	3	600	
19																				
20	20.00		砂岩等の互層	暗黒灰	w2	-	C	-	-		石英と方解石が認められる SS:SH=4:6		8/4	58.3	2.5	40	600	3	600	
21														56.8	2.5	40	600	3	600	
22														56.8	3.5	40	600	4	600	
23														55.4	3.5	40	600	4	600	
24													8/5	48.0	3	40	600	4	600	
25														40	3.5	40	600	4	600	
26														45.2	4	40	600	4	600	

5. 孔1の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

試錐地質柱状図 (1/100)

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事 (和歌山県日高町地区)

事業名または工事名 観測施設整備工事

調査目的及び調査対象 その他 地震・耐震

ボーリング名	孔1		調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.29"			
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所				調査期間	令和3年7月30日～令和4年2月7日			東経	135° 11' 55.54"	
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則	コア鑑定者	小野 雅弘		
孔口標高	54.36 m	角			方位			地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		
総削孔長	600.00 m	度			使用機種	試錐機 利根製Resort-21		エンジン	45kW	ポンプ	利根製NP1400

標尺 m	深 度 m	工学的 地質区 分名 (模様)	工学的 地質区 分名	色 調	風 化 の 程 度	変 質 の 程 度	岩 級 区 分	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	R Q D %	記 事	孔内 水位 m 測定 月日	削孔状況						試料採取		
													削 孔 月 日	削 孔 速 度 cm/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa	排 水 量 L/min	深 度 m	試 料 番 号
													8/6	40	4	40	600	4	600		
														40	4	40	600	4	600		
														35	4.5	40	600	4	600		
	30.00	砂岩等の互層	暗黒灰	w2	-	-	C	-	-		方解石が認められる SS:SH=4:6		8/7	26.6	4	40	600	4	600		
													8/21	70	1.5	40	600	3	600		
														66.7	1.5	40	600	3	600		
														68	1.5	40	600	3	600		
														51.4	1.5	40	600	3	600		
													8/22	80	2	40	600	3	600		
														72	2	40	600	3	600		
														56	3	40	600	3	600		
														55	3	40	600	3	600		
	40.00	砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h1	-	C	-	-		方解石が認められる SS:SH=8:2			60	3	40	600	3	600		
														60	3	40	600	3	600		
													8/23	55	3	40	600	3	600		
														55	3	40	600	3	600		
														60	3.5	40	600	3	600		
														58.5	3.5	40	600	3	600		
													8/24	80	3.5	40	600	3	600		
														80	3.5	40	600	3.5	600		
	50.00	砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h1	-	C	-	-		方解石が認められる SS:SH=7:3			84	3.5	40	600	3.5	600		

5. 孔1の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

試錐地質柱状図 (1/100)

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事 (和歌山県日高町地区)

事業名または工事名 観測施設整備工事

調査目的及び調査対象 その他 地震・耐震

ボーリング名	孔1		調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.29"			
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所				調査期間	令和3年7月30日～令和4年2月7日			東経	135° 11' 55.54"	
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則	コア鑑定者	小野 雅弘		
孔口標高	54.36 m	角			方位			地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		
総削孔長	600.00 m	度			使用機種	試錐機 利根製Resort-21		エンジン	45kW	ポンプ	利根製NP1400

標尺 m	深 度 m	工学的 地質区 分名 (模様)	工学的 地質区 分名	色 調	風 化 の 程 度	変 質 の 程 度	岩 級 区 分	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	R Q D %	記 事	孔内 水位 m 測定 月日	削孔状況						試料採取		
													削 孔 月 日	削 孔 速 度 m/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa	排 水 量 L/min	深 度 m	試 料 番 号
53																					
54														82	3.5	40	600	3.5	600		
55														84	3.5	40	600	4	600		
56													8/25	45	2	40	600	4	600		
57														47.1	2	40	600	4	600		
58														40	2.5	40	600	3.5	600		
59														53.1	4	40	600	4	600		
60	60.00	砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h1	C	-	-			方解石が認められる SS:SH=5:5			75	4	40	600	3	600		
61													8/26	65.5	3.5	40	600	4	600		
62														75	3.5	40	600	4	600		
63														74.8	3.5	40	600	4	600		
64														93.4	4	40	600	4	600		
65														76	3.5	40	600	4	600		
66														76	3.5	40	600	4	600		
67														76	3.5	40	600	4	600		
68														76	3.5	40	600	4	600		
69														76	3.5	40	600	4	600		
70	70.00	砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h1	C	-	-			方解石が認められる SS:SH=7:3		8/27	67.5	3	40	600	4	600		
71														60	3	40	600	4	600		
72														72	3.5	40	600	4	600		
73														72	3.5	40	600	4	600		
74														78	4	40	600	4	600		
75														62.5	3.5	40	600	4	600		
76													8/28	64	3.5	40	600	4	600		
77														64	3.5	40	600	4	600		

5. 孔1の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

試錐地質柱状図 (1/100)

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事 (和歌山県日高町地区)

事業名または工事名 観測施設整備工事

調査目的及び調査対象 その他 地震・耐震

ボーリング名	孔1		調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.29"		
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所				調査期間	令和3年7月30日～令和4年2月7日			東経	135° 11' 55.54"
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則		コピア鑑定者	小野 雅弘
孔口標高	54.36 m	角			方位			地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	
総削孔長	600.00 m	度			使用機種	試錐機 利根製Resort-21		エンジン	45kW	
								ポンプ	利根製NP1400	

標尺 m	深 度 m	工学的 地質区 分名 (模様)	工学的 地質区 分名	色 調	風 化 の 程 度	変 質 の 程 度	岩 級 区 分	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	R Q D %	記 事	孔内 水位 m 測定 月日	削孔状況						試料採取		
													削 孔 月 日	削 孔 速 度 cm/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa	排 水 量 L/min	深 度 m	試 料 番 号
79														87.7	3.5	40	600	4	600		
80	80.00	砂岩等の互層		暗黒灰	w1	h1	B	-	-		方解石が認められる SS:SH=7:3			49.4	4	40	600	4	600		
81																					
82														47.1	4	40	600	4	600		
83																					
84													8/29	88	3	40	600	4	600		
85																					
86														90	3	40	600	4	600		
87														90	3	40	600	4	600		
88														70	3.5	40	600	4	600		
89														32.7	3.5	40	600	4	600		
90	90.00	砂岩等の互層		暗黒灰	w1	h1	B	-	-		方解石が認められる SS:SH=4:6		8/30	64.6	3	40	600	4	600		
91																					
92														84	3	40	600	4	600		
93														53	3.5	40	600	4	600		
94																					
95														52.9	3.5	40	600	4	600		
96														60	3.5	40	600	4	600		
97													8/31	96	3	40	600	4	600		
98																					
99														74.3	3	40	600	4	600		
100	100.00	砂岩等の互層		暗黒灰	w1	h1	B	-	-		方解石が認められる SS:SH=2:8										
101														85.5	3	40	600	4	600		
102														36	3.5	40	600	4.5	600		
103														39.2	3.5	40	600	4.5	600		
104													9/1	56.7	3	40	600	4	600		

5. 孔1の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

試錐地質柱状図 (1/100)

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事 (和歌山県日高町地区)

事業名または工事名 観測施設整備工事

調査目的及び調査対象 その他 地震・耐震

ボーリング名	孔1			調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.29"		
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所				調査期間	令和3年7月30日～令和4年2月7日			東経	135° 11' 55.54"	
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則		コピ定者	小野 雅弘	
孔口標高	54.36 m	角			方位			地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		
総削孔長	600.00 m	度			使用機種	試錐機 利根製Resort-21		エンジン	45kW	ポンプ	利根製NP1400

標尺 m	深 度 m	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	岩級区分	コア形状	割れ目の状態	R Q D %	記 事	孔内水位 測定 月日	削孔状況							試料採取		
													削孔 月日	削孔 速度 cm/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa	排 水 量 L/min	深 度 m	試料 番号	
104																						
105														60	3.5	40	600	4.5	600			
106													9/6	45	3	40	600	4	600			
107														45	3	40	600	4	600			
108														61	3	40	600	4.5	600			
109													9/7	62	3	40	600	4.5	600			
110	110.00		頁岩等の互層	黒	w1	h1	B	-	-					50.8	3	40	600	4.5	600			
111											方解石が認められる SS:SH=2:8			60	3	40	600	4.5	600			
112														48	3.5	40	600	4.5	600			
113																						
114													9/8	81.4	3	40	600	4	600			
115														75	3	40	600	4	600			
116														55	3	40	600	4.5	600			
117																						
118														52.9	3	40	600	4.5	600			
119														43.6	3.5	40	600	4.5	600			
120	120.00		頁岩等の互層	黒	w1	h1	B	-	-		方解石が認められる SS:SH=2:8		9/9	58.8	3.5	40	600	4.5	600			
121														61.6	3	40	600	4	600			
122														41.5	3	40	600	5	600			
123														53.5	3.5	40	600	5	600			
124																						
125														60.8	3	40	600	5	600			
126																						
127													9/10	60	3	40	600	4.5	600			
128														63.8	3	40	600	4.5	600			
129														55	3.5	40	600	5	600			
130	130.00		頁岩等の互層	黒	w1	h1	B	-	-													



5. 孔1の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

























試錐地質柱状図 (1/100)

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事（和歌山県日高町地区）

事業名または工事名 観測施設整備工事

調査目的及び調査対象 その他 地震・耐震

ボーリング名	孔1		調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.29"			
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所				調査期間	令和3年7月30日～令和4年2月7日			東経	135° 11' 55.54"	
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則	コ 鑑 定 者	ア 小野 雅弘		
孔口標高	54.36 m	角 上 180° 下 0°	方 位 	地盤勾配		使用機種	試錐機 利根製Resort-21				
総削孔長	600.00 m					エンジン	45kW		ポンプ	利根製NP1400	

標尺 m	深 度 m	工学的地質区分名 (模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	岩級区分	コア形状	割れ目の状態	R Q D %	記 事	孔内水位 m 測定月日	削孔状況						試料採取		
													削孔月日	削孔速度 cm/h	給圧 t	回転数 rpm	送水量 L/min	送水圧 MPa	排水量 L/min	深 度 m	試料番号
130											方解石が認められる SS:SH=5:5										
131															9/11	55.7	3.5	40	600	5	600
132																					
133																					
134																					
135																					
136																					
137																					
138																					
139																					
140	140.00		砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h1	B	-	-		方解石が認められる SS:SH=5:5										
141																					
142																					
143																					
144																					
145																					
146														9/13	60	3	40	600	5	600	
147																					
148																					
149																					
150	150.00		砂岩等の互層	暗黄灰	w1	h1	B	-	-		方解石が認められる SS:SH=5:5										
151																					
152														9/14	63.5	3	40	600	5	600	
153																					
154																					
155																					
156																					

5. 孔1の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

試錐地質柱状図 (1/100)

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事 (和歌山県日高町地区)

事業名または工事名 観測施設整備工事

調査目的及び調査対象 その他 地震・耐震

ボーリング名	孔1		調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.29"						
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所				調査期間	令和3年7月30日～令和4年2月7日			東経	135° 11' 55.54"				
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則		コピア鑑別者	小野 雅弘				
孔口標高	54.36 m	角			方位			地盤勾配			使用機種	試錐機 利根製Resort-21		
総削孔長	600.00 m	度			度			エンジン	45kW		ポンプ	利根製NP1400		

標尺 m	深 度 m	工学的 地質区 分名 (模様)	工学的 地質区 分名	色 調	風 化 の 程 度	変 質 の 程 度	岩 級 区 分	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	R Q D %	記 事	孔内 水位 m 測定 月日	削孔状況						試料採取		
													削 孔 月 日	削 孔 速 度 cm/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa	排 水 量 L/min	深 度 m	試 料 番 号
													9/15	45	3.5	40	600	5.5	600		
														44	3.5	40	600	5.5	600		
														43.6	3.5	40	600	5.5	600		
	160.00	砂岩等の互層	暗黄灰	w1	h1	B	-	-			方解石が認められる SS:SH=2:8			50	3	40	600	5.5	600		
													9/16	46.6	3.5	40	600	5.5	600		
														55.4	3	40	600	5.5	600		
														45	3.5	40	600	5.5	600		
														46.1	3.5	40	600	5.5	600		
														42.8	3.5	40	600	5.5	600		
													9/17	54	3	40	600	5.5	600		
														49	3	40	600	5.5	600		
														40	3.5	40	600	5.5	600		
														47.1	3.5	40	600	5.5	600		
	170.00	真岩等の互層	黒	w1	h1	B	-	-			方解石が認められる SS:SH=6:4		9/18	41.5	3.5	40	600	5.5	600		
														50	3	40	600	5.5	600		
													9/29	51.4	3	40	600	5	600		
														60	3	40	600	5	600		
														44	3.5	40	600	5	600		
														32.7	3.5	40	600	5	600		
													9/30	55.4	3	40	600	5	600		
														60	3	40	600	5	600		
														46.1	3.5	40	600	5	600		
	180.00	砂岩等の互層	暗黒灰暗黒 灰	w1	h1	B	-	-			方解石が認められる SS:SH=2:8			37.5	3.5	40	600	5	600		
														36	3.5	40	600	5	600		
													10/1	55	3	40	600	5	600		

5. 孔1の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

試錐地質柱状図 (1/100)

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事 (和歌山県日高町地区)

事業名または工事名 観測施設整備工事

調査目的及び調査対象 その他 地震・耐震

ボーリング名	孔1		調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.29"		
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所				調査期間	令和3年7月30日～令和4年2月7日			東経	135° 11' 55.54"
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則		コア鑑定者	小野 雅弘
孔口標高	54.36 m	角			方位			地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	
総削孔長	600.00 m	度			使用機種	試錐機 利根製Resort-21		エンジン	45kW	
						ポンプ		利根製NP1400		

標尺 m	深 度 m	工学的 地質区 分名 (模様)	工学的 地質区 分名	色 調	風 化 の 程 度	変 質 の 程 度	岩 級 区 分	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	R Q D %	記 事	孔内 水位 m 測定 月日	削孔状況						試料採取		
													削 孔 月 日	削 孔 速 度 cm/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa	排 水 量 L/min	深 度 m	試 料 番 号
183														45	3.5	40	600	5	600		
184														46.6	3.5	40	600	5	600		
185														44.2	3.5	40	600	5	600		
186																					
187													10/2	50	3	40	600	5	600		
188														49.1	3	40	600	5	600		
189														40	3.5	40	600	5	600		
190	190.00		頁岩等の互層	黒	w1	h1	B	-	-					54.5	3	40	600	5	600		
191											方解石が認められる SS:SH=4:6		10/3	64.2	3	40	600	5.5	600		
192														64.2	3	40	600	5.5	600		
193														56	3	40	600	5.5	600		
194														52	3.5	40	600	5.5	600		
195														43.6	3.5	40	600	5.5	600		
196																					
197													10/4	55.7	3	40	600	5.5	600		
198														50.7	3.5	40	600	5.5	600		
199														50.7	3.5	40	600	5.5	600		
200	200.00		頁岩等の互層	黒	w1	h1	B	-	-		方解石が認められる 淡灰色の凝灰岩が混じる SS:SH=5:5			40	3.5	40	600	5.5	600		
201													10/5	30.4	3.5	40	600	5.5	600		
202													10/20	65	1.5	40	600	4.5	600		
203														60	1.5	40	600	4.5	600		
204														54.5	2	40	600	5	600		
205																					
206													10/21	52	2	40	600	5	600		
207														40	2	40	600	5	600		
208														40	2	40	600	5	600		

5. 孔1の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

試錐地質柱状図 (1/100)

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事 (和歌山県日高町地区)

事業名または工事名 観測施設整備工事

調査目的及び調査対象 その他 地震・耐震

ボーリング名	孔1		調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.29"			
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所				調査期間	令和3年7月30日～令和4年2月7日			東経	135° 11' 55.54"	
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則	コア鑑定者	小野 雅弘		
孔口標高	54.36 m	角			方位			地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		
総削孔長	600.00 m	度			使用機種	試錐機 利根製Resort-21		エンジン	45kW	ポンプ	利根製NP1400

標尺 m	深 度 m	工学的 地質区 分名 (模様)	工学的 地質区 分名	色 調	風 化 の 程 度	変 質 の 程 度	岩 級 区 分	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	R Q D %	記 事	孔内 水位 m 測定 月日	削孔状況							試料採取	
													削 孔 月 日	削 孔 速 度 cm/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa	排 水 量 L/min	深 度 m	試 料 番 号
													10/22	32.3	2	40	600	5	600		
	210.00	砂岩等の互層		暗黒灰	w1	h2	B	-	-		方解石が認められる SS:SH=7:3			35	2	40	600	5.5	600		
													10/23	43.6	2	40	600	5.5	600		
														40	2.5	40	600	5.5	600		
														55	2	40	600	5.5	600		
														40	2.5	40	600	5.5	600		
														36	2.5	40	600	5.5	600		
													10/24	44	2.5	40	600	5.5	600		
														40	2.5	40	600	5.5	600		
														40	2.5	40	600	5.5	600		
														38.5	3	40	600	5.5	600		
	220.00	砂岩等の互層		暗黒灰	w1	h1	B	-	-		方解石が認められる SS:SH=2:8		10/25	48.7	2.5	40	600	5.5	600		
														54	2.5	40	600	5.5	600		
														45	3	40	600	5.5	600		
														36	3	40	600	5.5	600		
													10/26	30	3	40	600	5.5	600		
														30	3	40	600	5.5	600		
														32.3	3	40	600	5.5	600		
													10/27	30	3	40	600	5.5	600		
														32	3	40	600	5.5	600		
														30	3	40	600	5.5	600		
	230.00	頁岩等の互層		黒	w1	h1	B	-	-		方解石が認められる 淡灰色の凝灰岩が混じる SS:SH=5:5		10/28	30	3	40	600	5	600		
														31.7	3	40	600	5	600		
														41.5	3	40	600	5	600		
													10/29	32.3	3	40	600	5	600		
														32.3	3	40	600	5	600		

5. 孔1の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

試錐地質柱状図 (1/100)

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事 (和歌山県日高町地区)

事業名または工事名 観測施設整備工事

調査目的及び調査対象 その他 地震・耐震

ボーリング名	孔1		調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.29"		
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所				調査期間	令和3年7月30日～令和4年2月7日			東経	135° 11' 55.54"
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則		コピ定者	小野 雅弘
孔口標高	54.36 m	角			方位			地盤勾配	鉛直 0° 水平 90°	
総削孔長	600.00 m	使用機種	試錐機			利根製Resort-21		エンジン	45kW	
		ポンプ	利根製NP1400							

標尺 m	深 度 m	工学的 地質区 分名 (模様)	工学的 地質区 分名	色 調	風 化 の 程 度	変 質 の 程 度	岩 級 区 分	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	R Q D %	記 事	孔内 水位 m 測定 月日	削孔状況						試料採取		
													削 孔 月 日	削 孔 速 度 m/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa	排 水 量 L/min	深 度 m	試 料 番 号
	235																				
	236												11/1	38.1	3	40	600	5	600		
	237													45	3	40	600	5	600		
	238													35	3	40	600	5	600		
	239												11/2	34.2	3	40	600	5	600		
	240	240.00	頁岩等の互層	黒	w1	h2	B	-	-					40	3	40	600	5	600		
	241										方解石が認められる 淡灰色の凝灰岩が混じる SS:SH=4:6			40	3	40	600	5.5	600		
	242												11/3	31.5	3	40	600	5.5	600		
	243													36	3	40	600	5.5	600		
	244													35	3	40	600	5.5	600		
	245												11/4	48	3	40	600	5.5	600		
	246													49.4	3	40	600	5.5	600		
	247													49.4	3	40	600	5.5	600		
	248													50.7	3	40	600	5.5	600		
	249													54	3	40	600	5.5	600		
	250	250.00	頁岩等の互層	黒	w1	h2	B	-	-		方解石が認められる SS:SH=2:8		11/5	42	3	40	600	5.5	600		
	251													41.2	3	40	600	5.5	600		
	252													41.2	3.5	40	600	5.5	600		
	253													32.3	3.5	40	600	5.5	600		
	254												11/6	35	3.5	40	600	5.5	600		
	255													25.7	3.5	40	600	5.5	600		
	256												11/7	27.3	3.5	40	600	5.5	600		
	257													23	3.5	40	600	5.5	600		
	258													36.9	3.5	40	600	5.5	600		
	259													40	3.5	40	600	5.5	600		
	260	260.00	頁岩等の互層	黒	w1	h1	B	-	-					36	3.5	40	600	5.5	600		

5. 孔1の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

試錐地質柱状図 (1/100)

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事 (和歌山県日高町地区)

事業名または工事名 観測施設整備工事

調査目的及び調査対象 その他 地震・耐震

ボーリング名	孔1		調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.29"			
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所				調査期間	令和3年7月30日～令和4年2月7日			東経	135° 11' 55.54"	
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則	コア鑑定者	小野 雅弘		
孔口標高	54.36 m	角			方位			地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		
総削孔長	600.00 m	度			使用機種	試錐機 利根製Resort-21		エンジン	45kW	ポンプ	利根製NP1400

標尺 m	深 度 m	工学的 地質区 分名 (模様)	工学的 地質区 分名	色 調	風 化 の 程 度	変 質 の 程 度	岩 級 区 分	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	R Q D %	記 事	孔内 水位 m 測定 月日	削孔状況						試料採取		
													削 孔 月 日	削 孔 速 度 cm/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa	排 水 量 L/min	深 度 m	試 料 番 号
											方解石が認められる SS:SH=2:8										
	261													50	3	40	600	5.5	600		
	262												11/8	42	3	40	600	5.5	600		
	263													21.4	3.5	40	600	5.5	600		
	264													24	3.5	40	600	5.5	600		
	265												11/9	44	3	40	600	5.5	600		
	266													36.9	3	40	600	5.5	600		
	267													50	3	40	600	6	600		
	268													36.6	3	40	600	6	600		
	269													36.5	3	40	600	6	600		
	270	270.00	頁岩等の互層	黒	w1	h1	B	-	-		方解石が認められる SS:SH=7:3			38.1	3	40	600	6	600		
	271													42.3	3	40	600	6	600		
	272												11/10	28.1	3	40	600	6	600		
	273													20	3	40	600	6	600		
	274													48	3	40	600	6	600		
	275													48	3	40	600	6	600		
	276													40	3	40	600	6	600		
	277													48	3	40	600	6	600		
	278													48	3	40	600	6	600		
	279													50	3	40	600	6	600		
	280	280.00	砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h2	B	-	-		方解石が認められる SS:SH=6:4			27.6	3	40	600	6	600		
	281												11/11	54.5	2.8	40	600	6	600		
	282													40	3	40	600	6	600		
	283													43.6	3	40	600	6	600		
	284													46.1	3	40	600	6	600		
	285													40	3	40	600	6	600		
	286													43.6	3	40	600	6	600		

5. 孔1の試錐地質柱状図(1/100) (続き)
 試錐地質柱状図 (1/100)

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事(和歌山県日高町地区)

事業名または工事名 観測施設整備工事

調査目的及び調査対象 その他 地震・耐震

ボーリング名	孔1		調査位置	日高川和佐				北緯	33° 53' 10.29"		
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所			調査期間	令和3年7月30日～令和4年2月7日				東経	135° 11' 55.54"	
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則		コ 鑑 定 者	小野 雅弘	
孔口標高	54.36 m	角 180° 上 下 90° 0°	方位			地盤勾配	鉛直	水平	0°	90°	使用機種
総削孔長	600.00 m					試錐機	利根製Resort-21				
						エンジン	45kW		ポンプ	利根製NP1400	

標尺 m	深度 m	工学的地質区分名 (模様)	工学的地質区分名	色 調	風 化 の 程 度	変 質 の 程 度	岩 級 区 分	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	R Q D %	記 事	孔内水位 m 測定月 日	削孔状況							試料採取		
													削 孔 月 日	削 孔 速 度 cm/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa	排 水 量 L/min	深 度 m	試 料 番 号	
	287			暗黒灰	w1	h1	B	-	-						38.2	3	40	600	6	600		
	288			暗黒灰	w1	h1	B	-	-						49.4	2.8	40	600	6	600		
	289			暗黒灰	w1	h1	B	-	-						49.4	2.8	40	600	6	600		
	290		砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h1	B	-	-		方解石が認められる 緑色の粘土混じる SS:SH=6:4				60	2.8	40	600	6	600		
	291											11/12		40	3	40	600	6	600			
	292													27.7	3	40	600	6	600			
	293													26.2	3	40	600	6	600			
	294											11/15		36	3	40	600	6	600			
	295													25	3	40	600	6	600			
	296													35	3	40	600	6	600			
	297													38.6	3	40	600	6	600			
	298													70	3	40	600	6	600			
	299													60	3	40	600	6	600			
	300		砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h2	B	-	-		方解石が認められる 淡黄色の凝灰岩が混じる(弱珪化) SS:SH=6:4			60	3	40	600	6	600			
	301													50.5	3	40	600	6	600			
	302													36.9	3	40	600	6	600			
	303											11/16		32.7	3	40	600	6	600			
	304													20	3	40	900	12	900			
	305													38.6	3.5	40	900	12	900			
	306													31.4	3.5	40	900	12	900			
	307													38.2	3.5	40	900	12	900			
	308													30	3.5	40	900	12	900			
	309													32.3	3.5	40	900	12	900			
	310		砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h2	B	-	-		方解石が認められる 淡黄色の凝灰岩が混じる SS:SH=5:5		11/17	35	3.5	40	900	12	900			
	311													30	3.5	40	900	13	900			
	312													45	3.5	40	900	13	900			

5. 孔1の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

試錐地質柱状図 (1/100)

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事 (和歌山県日高町地区)

事業名または工事名 観測施設整備工事

調査目的及び調査対象 その他 地震・耐震

ボーリング名	孔1	調査位置	日高川和佐	北緯	33° 53' 10.29"
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所	調査期間	令和3年7月30日～令和4年2月7日	東経	135° 11' 55.54"
調査業者名	住鉱資源開発株式会社	主任技師	千葉 昭彦	現場代理人	長谷 和則
孔口標高	54.36 m	角		コ	ア
総削孔長	600.00 m	度		地盤勾配	
			使用機種	試錐機	利根製Resort-21
			エンジン	45kW	ポンプ
			利根製NP1400		

標尺	深度	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	岩級区分	コア形状	割れ目の状態	RQD %	記	孔内水位	測定月日	削孔状況							試料採取					
														削孔月日	削孔速度 m/h	給圧 t	回転数 rpm	送水量 L/min	送水圧 MPa	排水量 L/min	深	試料番号				
	313																		30	3.5	40	900	13	900		
	314																		30	3.5	40	900	13	900		
	315																		35	3.5	40	900	13	900		
	316																		25.7	3.5	40	900	13	900		
	317												11 18						38.2	3	40	900	13	900		
	318																		50	3	40	900	13	900		
	319																		45	3	40	900	13	900		
	320	320.00	砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h2	B	-	-										45	3	40	900	13	900		
	321										方解石が認められる 緑色の粘土混じる SS:SH=5:5								50	3	40	900	13	900		
	322																		48.7	3	40	900	13	900		
	323																		60	2	40	900	13	900		
	324																		60	2	40	900	14	900		
	325																		60	2	40	900	14	900		
	326																		81.8	2	40	900	14	900		
	327																		81.8	2	40	900	14	900		
	328																		55	2	40	900	14	900		
	329												11 19						45	2	40	900	14	900		
	330	330.00	砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h2	B	-	-		方解石が認められる 淡灰色の凝灰岩が混じる SS:SH=4:6								45	2	40	900	14	900		
	331																		48	2	40	900	14	900		
	332																		42	2	40	900	14	900		
	333																		35	2.5	40	600	7	600		
	334																		34.2	2.5	40	600	7	600		
	335																		42	2.5	40	600	7	600		
	336																		32.3	2.5	40	600	7	600		
	337																		30	2.5	40	600	7	600		
	220												11 20						30	2.5	40	600	7	600		

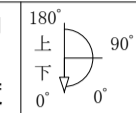

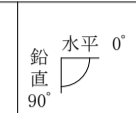
5. 孔1の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

試錐地質柱状図 (1/100)

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事 (和歌山県日高町地区)

事業名または工事名 観測施設整備工事

調査目的及び調査対象 その他 地震・耐震

ボーリング名	孔1	調査位置	日高川和佐	北緯	33° 53' 10.29"
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所	調査期間	令和3年7月30日～令和4年2月7日	東経	135° 11' 55.54"
調査業者名	住鉱資源開発株式会社	主任技師	千葉 昭彦	現場代理人	長谷 和則 コア鑑定者 小野 雅弘
孔口標高	54.36 m	角度		方位	
総削孔長	600.00 m	地盤勾配		使用機種	試錐機 利根製Resort-21 エンジン 45kW ポンプ 利根製NP1400

標尺 m	深 度 m	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	岩級区分	コア形状	割れ目の状態	R Q D %	記 事	孔内水位 m 測定月日	削孔状況						試料採取						
													削孔月日	削孔速度 m/h	給圧 t	回転数 rpm	送水量 L/min	送水圧 MPa	排水量 L/min	深 度 m	試料番号				
	340.00	砂岩等の互層		暗黒灰	w1	h2	B	-	-		方解石が認められる 淡黄色の凝灰岩が混じる SS:SH=5:5														
	350.00	砂岩等の互層		暗黒灰	w1	h2	B	-	-		方解石が認められる 淡黄色の凝灰岩が混じる SS:SH=5:5														
	360.00	砂岩等の互層		暗黒灰	w1	h1	B	-	-		方解石が認められる SS:SH=7:3														

5. 孔1の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

試錐地質柱状図 (1/100)

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事 (和歌山県日高町地区)

事業名または工事名 観測施設整備工事

調査目的及び調査対象 その他 地震・耐震

ボーリング名	孔1	調査位置	日高川和佐	北緯	33° 53' 10.29"
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所	調査期間	令和3年7月30日～令和4年2月7日	東経	135° 11' 55.54"
調査業者名	住鉱資源開発株式会社	主任技師	千葉 昭彦	現場代理人	長谷 和則 コア鑑定者 小野 雅弘
孔口標高	54.36 m	角	180° 上 下 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総削孔長	600.00 m	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機 利根製Resort-21 エンジン 45kW
				ポンプ	利根製NP1400

標尺 m	深 度 m	工学的 地質区 分名 (模様)	工学的 地質区 分名	色 調	風 化 の 程 度	変 質 の 程 度	岩 級 区 分	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	R Q D %	記 事	孔内 水位 m 測定 月日	削孔状況						試料採取					
													削 孔 月 日	削 孔 速 度 m/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa	排 水 量 L/min	深 度 m	試 料 番 号			
	370.00	砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h1	A	-	-			方解石が認められる 淡黄色の凝灰岩が混じる SS:SH=7:3													
	380.00	砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h2	A	-	-			方解石が認められる SS:SH=6:4													
	388												11/30	37.5	3	40	900	17	900					
	389													52	2.8	40	900	17	900					
	390.00	砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h1	A	-	-							41.5	3	40	900	17	900				

5. 孔1の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

試錐地質柱状図 (1/100)

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事 (和歌山県日高町地区)

事業名または工事名 観測施設整備工事

調査目的及び調査対象 その他 地震・耐震

ボーリング名	孔1		調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.29"			
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所				調査期間	令和3年7月30日～令和4年2月7日			東経	135° 11' 55.54"	
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則	コア鑑定者	小野 雅弘		
孔口標高	54.36 m	角			方位			地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		
総削孔長	600.00 m	度			使用機種	試錐機 利根製Resort-21		エンジン	45kW	ポンプ	利根製NP1400

標尺 m	深 度 m	工学的 地質区 分名 (模様)	工学的 地質区 分名	色 調	風 化 の 程 度	変 質 の 程 度	岩 級 区 分	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	R Q D %	記 事	孔内 水位 m 測定 月日	削孔状況						試料採取			
													削 孔 月 日	削 孔 速 度 cm/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa	排 水 量 L/min	深 度 m	試 料 番 号	
											方解石が認められる SS:SH=6:4											
															40	3	40	900	17	900		
															46.6	2.8	40	900	17	900		
															35	3	40	900	17	900		
															35	3	40	900	17	900		
															35	3	40	900	17	900		
															33.7	3	40	900	17	900		
															12 1	30	3	40	900	17	900	
															30	3	40	900	17	900		
															30	3	40	900	17	900		
	400.00		砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h1	A	-	-		方解石が認められる SS:SH=4:6				34.3	3	40	900	17	900		
															38.2	3	40	900	17	900		
															36.9	3	40	900	17	900		
															40	2.8	40	900	17	900		
															38.2	3	40	900	17	900		
															12 2	49.1	2.8	40	900	17	900	
															50	2.8	40	900	17	900		
															30	3	40	900	17	900		
															25	3	40	900	18	900		
															28	3	40	900	18	900		
	410.00		頁岩等の互層	黒	w1	h1	B	-	-		方解石が認められる SS:SH=3:7				21	3	40	900	18	900		
															30	3	40	900	15	900		
															12 3	46.6	2.8	40	900	15	900	
															41.5	2.8	40	900	15	900		
															35	3	40	900	15	900		
															40	3	40	900	15	900		
															35	3	40	900	15	900		

5. 孔1の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

試錐地質柱状図 (1/100)

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事 (和歌山県日高町地区)

事業名または工事名 観測施設整備工事

調査目的及び調査対象 その他 地震・耐震

ボーリング名	孔1		調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.29"			
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所				調査期間	令和3年7月30日～令和4年2月7日			東経	135° 11' 55.54"	
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則	コア鑑定者	小野 雅弘		
孔口標高	54.36 m	角			方位			地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		
総削孔長	600.00 m	度			使用機種	試錐機 利根製Resort-21		エンジン	45kW	ポンプ	利根製NP1400

標尺 m	深 度 m	工学的 地質区 分名 (模様)	工学的 地質区 分名	色 調	風 化 の 程 度	変 質 の 程 度	岩 級 区 分	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	R Q D %	記 事	孔内 水位 m 測定 月日	削孔状況							試料採取		
													削 孔 月 日	削 孔 速 度 cm/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa	排 水 量 L/min	深 度 m	試 料 番 号	
											方解石が認められる 砂岩の一部が強く珪化する SS:SH=8:2											
	521														28	3	40	900	19	900		
	522														28	3	40	900	19	900		
	523													12 20	40	3	40	900	19	900		
	524														48	3	40	900	19	900		
	525														46.6	3	40	900	19	900		
	526														60	2.5	40	900	19	900		
	527														60	2.5	40	900	19	900		
	528														37.5	3	40	900	19	900		
	529														52.5	2.5	40	900	19	900		
	530	530.00	砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h2	A	-	-		方解石が認められる SS:SH=8:2				30	3	40	900	19	900		
	531														28	3	40	900	19	900		
	532														45	2.5	40	900	19	900		
	533													12 21	30	3	40	900	19	900		
	534														35	3	40	900	19	900		
	535														35	3	40	900	19	900		
	536														35	3	40	900	20	900		
	537														30	3	40	900	20	900		
	538														35	3	40	900	20	900		
	539														32.3	3	40	900	20	900		
	540	540.00	砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h1	A	-	-		SS:SH=8:2				35	3	40	900	20	900		
	541													12 22	30	3	40	900	20	900		
	542														30	3	40	900	20	900		
	543														35	2.5	40	900	20	900		
	544														35	2.5	40	900	20	900		
	545														28	3	40	900	20	900		
	546														28	3	40	900	20	900		

5. 孔1の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

試錐地質柱状図 (1/100)

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事 (和歌山県日高町地区)

事業名または工事名 観測施設整備工事

調査目的及び調査対象 その他 地震・耐震

ボーリング名	孔1		調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.29"			
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所				調査期間	令和3年7月30日～令和4年2月7日			東経	135° 11' 55.54"	
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則	コア鑑定者	小野 雅弘		
孔口標高	54.36 m	角			方位			地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		
総削孔長	600.00 m	度			使用機種	試錐機 利根製Resort-21		エンジン	45kW	ポンプ	利根製NP1400

標尺 m	深 度 m	工学的 地質区 分名 (模様)	工学的 地質区 分名	色 調	風 化 の 程 度	変 質 の 程 度	岩 級 区 分	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	R Q D %	記 事	孔内 水位 m 測定 月日	削孔状況						試料採取		
													削 孔 月 日	削 孔 速 度 cm/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa	排 水 量 L/min	深 度 m	試 料 番 号
	547												12/23	32.7	3	40	900	20	900		
	548													30	3	40	900	20	900		
	549													30	3	40	900	20	900		
	550	550.00	砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h1	A	-	-		方解石が認められる SS:SH=8:2			35	3	40	900	20	900		
	551													30	3	40	900	20	900		
	552													35	3	40	900	20	900		
	553													46.6	3	40	900	20	900		
	554													42	3	40	900	20	900		
	555												12/24	35	3	40	900	20	900		
	556													27.3	3	40	900	20	900		
	557													30	3	40	900	20	900		
	558													17.5	3.8	40	900	20	900		
	559													20	3.8	40	900	20	900		
	560	560.00	砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h1	A	-	-		方解石が認められる 淡緑色の凝灰岩が混じる(弱珪化) SS:SH=7:3		12/25	30	3.5	40	900	20	900		
	561													15	3.5	40	900	21	900		
	562													20	3.5	40	900	21	900		
	563													22.1	3.5	40	900	21	900		
	564													23.3	3.5	40	900	21	900		
	565												12/26	25	3.5	40	900	21	900		
	566													30	3.5	40	900	21	900		
	567													25	3.5	40	900	21	900		
	568												1/6	30	3	40	900	21	900		
	569													28	3	40	900	21	900		
	570													35	3	40	900	21	900		
	571	571.00	砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h2	A	-	-				1/7	30	2.5	40	900	21	900		
	572	572.00						III		32			2/3	41.5	0.5	90	120	10	120		

5. 孔1の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

試錐地質柱状図 (1/100)

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事 (和歌山県日高町地区)

事業名または工事名 観測施設整備工事

調査目的及び調査対象 その他 地震・耐震

ボーリング名	孔1		調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.29"			
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所				調査期間	令和3年7月30日～令和4年2月7日			東経	135° 11' 55.54"	
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則	コア鑑定者	小野 雅弘		
孔口標高	54.36 m	角			方位			地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		
総削孔長	600.00 m	度			使用機種	試錐機 利根製Resort-21		エンジン	45kW	ポンプ	利根製NP1400

標尺 m	深 度 m	工学的 地質区 分名 (模様)	工学的 地質区 分名	色 調	風 化 の 程 度	変 質 の 程 度	岩 級 区 分	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	R Q D %	記 事	孔 内 水 位 m 測 定 日 日	削孔状況							試料採取	
													削 孔 月 日	削 孔 速 度 cm/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa	排 水 量 L/min	深 度 m	試 料 番 号
	573.00						B	II		12			2/4	30	1	90	120	11	120		
	574.00					h1				82			2/5	34.2	1.5	90	120	11	120		
	575.00			w1		h2	A	I	a	100				24.8	1.6	90	120	12	120		
	576.00						B			91				25	1.6	90	120	12	120		
	577.00						A			90				20	1.6	90	120	12	120		
	578.00							II		85				32.5	1.6	90	120	11	120		
	578.43						A														
	579.00						B	II		73				42.9	1.6	90	120	11	120		
	580.00	砂岩等の互層	暗黒灰	w1		h1			a	93			2/6	27.7	1.5	90	120	12	120		
	581.00					h1				98				120	1.2	150	120	6	120		
	581.30						A														
	581.55						B														
	582.00					h2		I		100				120	1.2	150	120	6	120		
	583.00									95				120	1.2	150	120	6	120		
	583.74						A														
	584.00					h1				80				114	1.2	150	120	6	120		
	584.20						B														
	584.59						C														
	585.00			w1		h2		II	a	73				114	1.2	150	120	6	120		
	586.00									91				75	1.5	150	120	7	120		
	586.80						A														
	587.00						B			78				75	1.5	150	120	7	120		
	588.00							I		96				75	1.5	150	120	7	120		
	589.00							II		90				97.5	1.2	150	120	7	120		
	590.00	砂岩等の互層	暗黒灰	w1		h1	A		a	99			2/7	127.5	1.5	150	120	6	120		
	591.00									92				127.5	1.5	150	120	6	120	591.20	物性A 透水A
	592.00					h1		I		100				105.9	1.5	150	120	5	120	591.70	
	593.00					h2		II		91				105.9	1.5	150	120	5	120	592.00	
	594.00					h1				88				105.9	1.5	150	120	5	120		
	595.00			w1		h2	A	I	a	82				128.6	1.5	150	120	5	120	595.15	透水B 物性B
	596.00									94				128.6	1.5	150	120	5	120	595.40	
	597.00									100				128.6	1.5	150	120	5	120	595.40	
	597.43						A														
	598.00						B			85				125.5	1.5	150	120	5	120	596.00	

5. 孔1の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

試錐地質柱状図 (1/100)

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事 (和歌山県日高町地区)

事業名または工事名 観測施設整備工事

調査目的及び調査対象 その他 地震・耐震

ボーリング名	孔1		調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.29"			
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所			調査期間	令和3年7月30日～令和4年2月7日			東経	135° 11' 55.54"		
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則	コア鑑定者	小野 雅弘		
孔口標高	54.36 m	角			方位	地盤勾配			使用機種	試錐機 利根製Resort-21	
総削孔長	600.00 m	度					エンジン	45kW	ポンプ	利根製NP1400	

標尺 m	深 度 m	工学的 地質区 分名 (模様)	工学的 地質区 分名	色 調	風 化 の 程 度	変 質 の 程 度	岩 級 区 分	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	R Q D %	記 事	孔内 水位 m 測定 月日	削孔状況						試料採取		
													削 孔 月 日	削 孔 速 度 m/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa	排 水 量 L/min	深 度 m	試 料 番 号
599	599.00									90				125.5	1.5	150	120	5	120		
600	600.00		砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h1	A	I	a	95				125.5	1.5	150	120	5	120		
601																					
602																					
603																					
604																					
605																					
606																					
607																					
608																					
609																					
610																					
611																					
612																					
613																					
614																					
615																					
616																					
617																					
618																					
619																					
620																					
621																					
622																					
623																					

6. 孔2の試錐地質柱状図(1/100)

岩盤ボーリング柱状図

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事

事業名または工事名 和歌山県日高町地区

調査目的及び調査対象

ボーリング名	孔2		調査位置	日高川和佐		北緯	33° 53' 10.17"						
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所			調査期間	令和3年7月30日～令和3年9月13日		東経	135° 11' 56.05"					
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則 コ 鑑 定 者 小野 雅弘						
孔口標高	53.94 m	角			方位			地盤勾配			使用機種	試錐機 利根製TL-2000	
総削孔長	201.00 m	度			位置			エンジン	30kW	ポンプ	利根製NP700		

標尺 m	深 度 m	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色 調	風 化 の 程 度	変 質 の 程 度	岩 級 区 分	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	R Q D %	記 事	孔内水位 m 測定月日	削孔状況							深 度 m	試 料 番 号				
													削 孔 月 日	削 孔 速 度 cm/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa	排 水 量 L/min						
	2.90	盛土		灰色	-	-	-	-	-																
	3.40	ハハ	礫混じり凝灰岩	淡黄灰	w5	-	D	-	-		風化凝灰岩 風化凝灰岩が混じる														
	5.00		砂岩等の互層	灰色	w4	-	D	-	-		風化凝灰岩が混じる 褐鉄鉱の沈着認める	7/30	108	0.5	40	480	3	480							
	10.00		砂岩等の互層	灰色	w3	-	C	-	-		風化凝灰岩が混じる 褐鉄鉱の沈着認める	7/31	44.1	1	40	470	3	480							
	12.50		砂岩等の互層	暗灰	w3	-	C	-	-		褐鉄鉱の沈着認める SS:SH=7:3	8/1	50	1.5	40	480	4	480							
	15.00		砂岩等の互層	暗灰	w2	-	C	-	-		SS:SH=7:3	8/2	20.5	1.5	40	480	4	480							
	20.00		砂岩等の互層	暗灰	w2	-	C	-	-			8/3	40	1.5	40	480	4	480							
												8/4	28.4	2	40	480	4	480							
												8/5	39.4	3.5	40	480	4	480							
												8/6	59	4	40	480	4	480							

6. 孔2の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

岩盤ボーリング柱状図

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事

事業名または工事名 和歌山県日高町地区

調査目的及び調査対象

ボーリング名	孔2		調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.17"		
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所				調査期間	令和3年7月30日～令和3年9月13日			東経	135° 11' 56.05"
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則		コア鑑定者	小野 雅弘
孔口標高	53.94 m	角			方位			地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	
総削孔長	201.00 m	度			使用機種	試錐機 利根製TL-2000		エンジン	30kW	
								ポンプ	利根製NP700	

標尺 m	深 度 m	工学的 地質区 分名 (模様)	工学的 地質区 分名	色 調	風 化 の 程 度	変 質 の 程 度	岩 級 区 分	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	R Q D %	記 事	孔内 水位 m 測定 月日	削孔状況							深 度 m	試 料 番 号					
													削 孔 月 日	削 孔 速 度 cm/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa	排 水 量 L/min							
	30.00		砂岩	暗灰	w1	h2	C	-	-					8/7	58.3	4.5	40	480	4	480						
														8/21	32	1	40	480	2	480						
															34.3	1.5	40	480	2	480						
														8/22	30	2	40	435	3	435						
															52	3	40	435	3	435						
	35.00		砂岩	暗灰	w1	h2	C	-	-						45	3	40	435	4	435						
															45	3	40	435	4	435						
														8/23	50	3	40	480	4	480						
															43	3	40	480	4	480						
															45	3	40	480	4	480						
	40.00		砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h2	C	-	-		凝灰岩と粘土が混じる				57	3	40	480	4	480						
															54.4	3	40	480	4	480						
															64	3	40	480	4	480						
														8/24	68	3	40	480	4	480						
															60	3	40	480	4	480						
															51.4	3	40	480	4	480						
	50.00		砂岩	暗灰	w1	h2	C	-	-		粘土混じる				75	2.8	40	480	3	480						
															45	2.8	40	480	4	480						

6. 孔2の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

岩盤ボーリング柱状図

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事

事業名または工事名 和歌山県日高町地区

調査目的及び調査対象

ボーリング名	孔2		調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.17"			
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所				調査期間	令和3年7月30日～令和3年9月13日		東経	135° 11' 56.05"		
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則	コア鑑定者	小野 雅弘		
孔口標高	53.94 m	角			方位			地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		
総削孔長	201.00 m	度			使用機種	試錐機 利根製TL-2000		エンジン	30kW	ポンプ	利根製NP700

標尺 m	深 度 m	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	岩級区分	コア形状	割れ目の状態	R Q D %	記 事	孔内水位 m 測定月日	削孔状況						深 度 m	試料 番号	
													削孔 月日	削孔 速度 cm/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa			排 水 量 L/min
53																					
54														45.6	2.8	40	480	4	480		
55														60	3	40	480	3	480		
56														60	3	40	480	3	480		
57																					
58													8/25	60.7	3	40	480	3	480		
59														50	3	40	480	4	480		
60	60.00		砂岩	暗灰	w1	h2	C	-	-					62.6	3	40	480	4	480		
61											粘土混じる										
62														60	3	40	480	4	480		
63														56.2	2.5	40	480	4	480		
64														48.4	1.5	40	480	4	480		
65														52.5	2	40	480	4	480		
66														43.6	1.5	40	480	4	480		
67														48	1.5	40	480	4	480		
68																					
69													8/26	45.9	2	40	480	4	480		
70	70.00		砂岩	暗灰	w1	h2	C	-	-		方解石が認められる			48	2	40	480	4	480		
71														38.2	2	40	480	4	480		
72														49.3	2.5	40	480	4	480		
73																					
74														68.2	3	40	480	4	480		
75														73	3	40	480	4	480		
76														36.5	2.5	40	480	5	480		
77																					
78														63	3	40	480	4	480		

6. 孔2の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

岩盤ボーリング柱状図

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事

事業名または工事名 和歌山県日高町地区

調査目的及び調査対象

ボーリング名	孔2		調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.17"		
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所				調査期間	令和3年7月30日～令和3年9月13日			東経	135° 11' 56.05"
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則	コア鑑定者	小野 雅弘	
孔口標高	53.94 m	角			方位			地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	
総削孔長	201.00 m	度			使用機種	試錐機 利根製TL-2000		エンジン	30kW	
								ポンプ	利根製NP700	

標尺 m	深 度 m	工学的 地質区 分名 (模様)	工学的 地質区 分名	色 調	風 化 の 程 度	変 質 の 程 度	岩 級 区 分	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	R Q D %	記 事	孔内 水位 m 測定 月日	削孔状況							深 度 m	試 料 番 号
													削 孔 月 日	削 孔 速 度 cm/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa	排 水 量 L/min		
	80.00		砂岩	暗灰	w1	h2	C	-	-		方解石が認められるの SS:SH=6:4	8/27	47	2.5	40	480	5	480			
													42.4	2.5	40	480	5	480			
													44	2.5	40	480	5	480			
													49.8	2.5	40	480	3	480			
													35.5	2.5	40	480	3	480			
													42.4	2.5	40	480	4	480			
													30	2.5	40	480	4	480			
													30.4	2.5	40	480	4	480			
													60	3	40	480	4	480			
	90.00		砂岩等の互層	暗灰	w1	h2	B	-	-			8/28	48	3	40	480	4	480			
													45	3	40	480	4	480			
													60.5	3	40	480	4	480			
													57	3	40	480	4	480			
													51	3	40	480	4	480			
													44	3	40	480	4	480			
													46.3	3	40	480	4	480			
													39	3	40	480	4	480			
													37.5	3	40	480	4	480			
													34.3	3	40	480	4.5	480			
	100.00		砂岩等の互層	暗灰	w1	h2	B	-	-		方解石が認められる SS:SH=4:6	8/29	12.2	3.5	40	480	5	480			
													28.7	3	40	480	5	480			
													22	3	40	480	4.5	480			
													65.5	2.5	40	480	4	480			

6. 孔2の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

岩盤ボーリング柱状図

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事

事業名または工事名 和歌山県日高町地区

調査目的及び調査対象

ボーリング名	孔2		調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.17"			
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所				調査期間	令和3年7月30日～令和3年9月13日		東経	135° 11' 56.05"		
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則	コア鑑定者	小野 雅弘		
孔口標高	53.94 m	角			方位			地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		
総削孔長	201.00 m	度			使用機種	試錐機 利根製TL-2000		エンジン	30kW	ポンプ	利根製NP700

標尺 m	深 度 m	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	岩級区分	コア形状	割れ目の状態	R Q D %	記 事	孔内水位 m 測定月日	削孔状況							深 度 m	試料 番号	
													削孔月日	削孔速度 cm/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa	排 水 量 L/min			
	105												8/30	51.4	2.5	40	480	4	480			
	106													80	3	40	480	4	480			
	107													52.9	2.5	40	480	4	480			
	108													47.1	2.5	40	480	4	480			
	109																					
	110	110.00	砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h2	B	-	-		方解石が認められる 粘土混じる SS:SH=6:4			56.5	2.5	40	480	4	480			
	111														50	2.5	40	480	4	480		
	112																					
	113																					
	114														110	2.5	40	480	4	480		
	115														56	3	40	480	4	480		
	116																					
	117														55.4	3	40	480	4	480		
	118													8/31	60	3	40	480	4	480		
	119														55.4	3	40	480	4.5	480		
	120	120.00	砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h2	B	-	-		方解石が認められる 粘土混じる SS:SH=6:4			45	3	40	480	4.5	480			
	121														39	3	40	480	5	480		
	122														48.5	2.5	40	480	4.5	480		
	123														48	2.5	40	480	4.5	480		
	124														69	3	40	480	4	480		
	125														48.9	3	40	480	4.5	480		
	126													9/1	50	3	40	480	4.5	480		
	127																					
	128														60	2.5	40	480	4	480		
	129													9/6	50	3	40	480	4.5	480		
	130	130.00	砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h2	B	-	-						43.1	3	40	480	4.5	480		

6. 孔2の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

岩盤ボーリング柱状図

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事

事業名または工事名 和歌山県日高町地区

調査目的及び調査対象

ボーリング名	孔2		調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.17"			
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所				調査期間	令和3年7月30日～令和3年9月13日			東経	135° 11' 56.05"	
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則	コア鑑定者	小野 雅弘		
孔口標高	53.94 m	角			方位			地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		
総削孔長	201.00 m	度			使用機種	試錐機 利根製TL-2000		エンジン	30kW	ポンプ	利根製NP700

標尺 m	深 度 m	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	岩級区分	コア形状	割れ目の状態	R Q D %	記 事	孔内水位 m 測定月日	削孔状況							深 度 m	試料 番 号			
													削孔月日	削孔速度 cm/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa	排 水 量 L/min					
											方解石が認められる SS:SH=5:5													
												9/7	60	3	40	480	4.5	480						
													46.2	3	40	480	4.5	480						
													41.3	3	40	480	4.5	480						
													45.9	3	40	480	4.5	480						
												9/8	55.4	3	40	480	4.5	480						
													51.4	3	40	480	4.5	480						
	140.00	砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h2	B	-	-			粘土混じる SS:SH=3:7		69	3	40	480	5	480						
													72	3	40	480	5	480						
													70.4	3	40	480	5	480						
													42	3	40	480	6	480						
													54	3	40	480	6	480						
													54	3	40	480	6	480						
													48.8	3	40	480	5.5	480						
													48	3	40	480	5.5	480						
	150.00	砂岩等の互層	暗黄灰	w1	h2	B	-	-			方解石が認められる 粘土混じる	9/9	32.7	3	40	480	5	480						
													37.9	3	40	480	5	480						
													42.3	3	40	480	5.5	480						
													52.6	3	40	480	5.5	480						
													46.2	3	40	480	5	480						
													44.6	3	40	480	5.5	480						

6. 孔2の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

岩盤ボーリング柱状図

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事

事業名または工事名 和歌山県日高町地区

調査目的及び調査対象

ボーリング名	孔2		調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.17"			
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所				調査期間	令和3年7月30日～令和3年9月13日		東経	135° 11' 56.05"		
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則	コア鑑定者	小野 雅弘		
孔口標高	53.94 m	角			方位			地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		
総削孔長	201.00 m	度			使用機種	試錐機 利根製TL-2000		エンジン	30kW	ポンプ	利根製NP700

標尺 m	深 度 m	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	岩級区分	コア形状	割れ目の状態	R Q D %	記 事	孔内水位 m 測定月日	削孔状況							深 度 m	試料 番号
													削孔月日	削孔速度 cm/h	給圧 t	回転数 rpm	送水量 L/min	送水圧 MPa	排水量 L/min		
157														50	3	40	480	5.5	480		
158														42.9	3	40	480	5.5	480		
159														55	3	40	480	6	480		
160	160.00	砂岩等の互層	暗黄灰	w1	h2	B	-	-			方解石が認められる		9/10	55.4	3	40	480	6	480		
161																					
162														48	3	40	480	6	480		
163														43.2	3	40	480	5.5	480		
164														54	3	40	480	6	480		
165														71.3	3	40	480	6.5	480		
166														51.5	3	40	480	6.5	480		
167														42.9	3	40	480	6.5	480		
168														30	3	40	480	6.5	480		
169														35	3	40	480	7	480		
170	170.00	砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h2	B	-	-			方解石が認められる			42.4	3	40	480	6.5	480		
171													9/11	48	3	40	480	6.5	480		
172														40	3	40	480	6.5	480		
173														45	3	40	480	6.5	480		
174														54.5	3	40	480	6.5	480		
175														52	3	40	480	6.5	480		
176														38	3	40	480	6	480		
177														60	3	40	480	6.5	480		
178														55	3	40	480	6.5	480		
179														53.3	3	40	480	6.5	480		
180	180.00	砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h2	B	-	-			方解石が認められる										
181													9/12	45	3	40	480	6.5	480		
182														40	3	40	480	6.5	480		

6. 孔2の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

岩盤ボーリング柱状図

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事

事業名または工事名 和歌山県日高町地区

調査目的及び調査対象

ボーリング名	孔2		調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.17"				
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所				調査期間	令和3年7月30日～令和3年9月13日			東経	135° 11' 56.05"		
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則		コア鑑定者	小野 雅弘		
孔口標高	53.94 m	角			方位	地盤勾配			使用機種	試錐機 利根製TL-2000		
総削孔長	201.00 m	度				鉛直	水平		エンジン	30kW	ポンプ	利根製NP700

標尺 m	深 度 m	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色 調	風 化 の 程 度	変 質 の 程 度	岩 級 区 分	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	R Q D %	記 事	孔内水位 m 測定 月日	削孔状況						深 度 m	試 料 番 号	
													削 孔 月 日	削 孔 速 度 cm/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa			排 水 量 L/min
183														51.4	3	40	480	6.5	480		
184														68.6	3	40	480	6.5	480		
185														38.1	3	40	480	7	480		
186														30	3	40	480	7	480		
187														40	3	40	480	7	480		
188														46.6	3	40	480	6.5	480		
189														25	3	40	480	7	480		
190	190.00	砂岩等の互層		暗黄灰	w1	h2	B	-	-					45	3	40	480	7	480		
191											方解石が認められる 粘土混じる SS:SH=4:6			45	3	40	480	7	480		
192														45	3	40	480	7	480		
193														42	3	3	7	40	480		
194													9/13	66.6	3	40	480	6.5	480		
195														60	3	40	480	6.5	480		
196														45	3	40	480	6.5	480		
197														33.3	3	40	480	7	480		
198														46.6	3	40	480	6.5	480		
199														42.3	3	40	480	6.5	480		
200	200.00	砂岩等の互層		暗黄灰	w1	h2	B	-	-					55.4	3	40	480	6.5	480		
201																					
202																					
203																					
204																					
205																					
206																					
207																					

7. 孔3の試錐地質柱状図(1/100)

岩盤ボーリング柱状図

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事

事業名または工事名 和歌山県日高町地区

調査目的及び調査対象

ボーリング名	孔3		調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.13"		
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所				調査期間	令和3年10月1日～令和3年10月22日		東経	135° 11' 56.19"	
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則	コア鑑定者	小野 雅弘	
孔口標高	53.88 m	角			方位			地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	
総削孔長	33.00 m	度			使用機種	試錐機 利根製TBM-88		エンジン	18.5kW	
						ポンプ		利根製NP700		

標尺 m	深 度 m	工学的 地質区 分名 (模様)	工学的 地質区 分名	色 調	風 化 の 程 度	変 質 の 程 度	岩 級 区 分	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	R Q D %	記 事	孔内 水位 m 測定 月日	削孔状況							深 度 m	試 料 番 号				
													削 孔 月 日	削 孔 速 度 m/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa	排 水 量 L/min						
	1.80		盛土	灰色	-	-	-	-	-																
	3.01		礫混じり凝灰岩	淡黄灰	w5	-	D	-	-		下位の砂岩頁岩を礫として含む														
	5.00		礫混じり凝灰岩	灰色	w4	-	D	-	-		下位の砂岩頁岩を礫として含む 褐鉄鉱の沈着が認められる	10/1	357	0.5	40	400	0	400							
	7.00		砂岩等の互層	灰色	w3	-	D	-	-		凝灰岩が混じる 褐鉄鉱の沈着が認められる	10/2	75	1	40	480	2.5	480							
	9.00		砂岩等の互層	暗灰	w3	-	D	-	-		凝灰岩が混じる 褐鉄鉱の沈着が認められる		75	1	40	480	2.5	480							
	10.00		砂岩等の互層	暗灰	w2	-	C	-	-		凝灰岩が混じる 褐鉄鉱の沈着が認められる		84	1	40	480	2.5	480							
	12.00		砂岩等の互層	暗灰	w2	-	C	-	-		凝灰岩が混じる 褐鉄鉱の沈着が認められる		94.2	1	40	480	2.5	480							
	13.00		砂岩等の互層	暗灰	w1	h2	C	-	-		凝灰岩が混じる 褐鉄鉱の沈着が認められる		46.6	2	40	480	3	480							
	15.00		砂岩等の互層	暗灰	w1	h2	C	-	-		凝灰岩が混じる 褐鉄鉱の沈着が認められる	10/3	66.6	1.5	40	480	3	480							
	20.00		砂岩等の互層	暗黒灰	w1	h2	C	-	-		凝灰岩が混じる褐鉄鉱の沈着が認められる		80	1.5	40	480	3	480							
											石英、方解石が少量認められる	10/4	43.3	2	40	480	3	480							
											石英、方解石が少量認められる		43.3	2	40	480	3	480							
											石英、方解石が少量認められる		54.5	2	40	480	3	480							
											石英、方解石が少量認められる	10/5	45	2.5	40	480	3.5	480							
											石英、方解石が少量認められる	10/20	45	2.5	40	480	3.5	480							
											石英、方解石が少量認められる		50	2.5	40	480	3	480							
											石英、方解石が少量認められる		42.8	3	40	480	3.5	480							
											石英、方解石が少量認められる		34.2	3	40	480	3.5	480							
											石英、方解石が少量認められる	10/21	46.6	2.5	40	480	3	480							
											石英、方解石が少量認められる		35.3	3	40	480	3	480							
											石英、方解石が少量認められる		30	3	40	480	3	480							
											石英、方解石が少量認められる	10/22	30	3.5	40	480	3	480							

7. 孔3の試錐地質柱状図(1/100) (続き)

岩盤ボーリング柱状図

調査名 南海トラフ地震モニタリングのための地下水等総合観測施設整備工事

事業名または工事名 和歌山県日高町地区

調査目的及び調査対象

ボーリング名	孔3		調査位置	日高川和佐			北緯	33° 53' 10.13"						
発注機関	研究開発法人 産業技術総合研究所				調査期間	令和3年10月1日～令和3年10月22日		東経	135° 11' 56.19"					
調査業者名	住鉱資源開発株式会社		主任技師	千葉 昭彦		現場代理人	長谷 和則	コア鑑定者	小野 雅弘					
孔口標高	53.88 m	角			方位			地盤勾配	鉛直 90°	使用機種	試錐機 利根製TBM-88			
総削孔長	33.00 m	度								エンジン	18.5kW	ポンプ	利根製NP700	

標尺 m	深 度 m	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	岩級区分	コア形状	割れ目の状態	R Q D %	記 事	孔内水位 m 測定月日	削孔状況						深 度 m	試料 番号	
													削孔 月 日	削孔 速 度 cm/h	給 圧 t	回 転 数 rpm	送 水 量 L/min	送 水 圧 MPa			排 水 量 L/min
27		*****												54	3	40	480	3	480		
28		*****												54.5	3	40	480	3	480		
29		*****												55	3	40	480	3	480		
30	30.00	*****	砂岩等の互層	暗灰	w1	h2	C	-	-					55	3	40	480	3	480		
31														54.5	3	40	480	3.5	480		
32														55	3	40	480	3.5	480		
33														60	3	40	480	3.5	480		